

調査結果の概要

第1部 世帯と世帯員の状況・・・3,775世帯（集計対象世帯）とその世帯員9,171人の状況

1 集計対象者の基本的属性

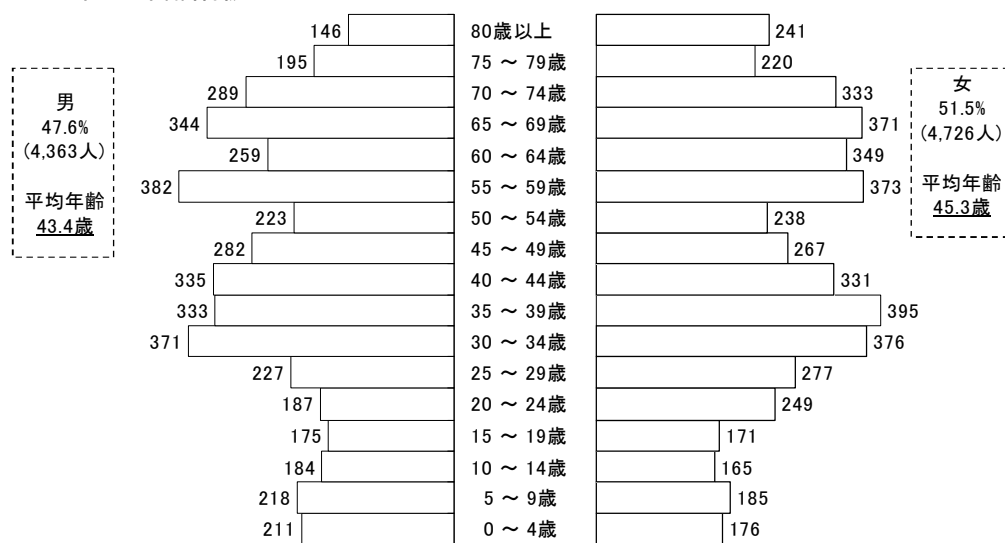
(1) 集計対象者の性・年齢階級

本調査は、住民基本台帳から調査客体として6,000世帯を無作為に抽出し（1/989）、そのうち、調査不能世帯2,225世帯を除く3,775世帯とその世帯員9,171人を集計対象者として分析を行った。

集計対象者の平均年齢は男性43.4歳、女性45.3歳である。男女の比率は、男性47.6%、女性51.5%となっている。（図I-1-1 本文13p）

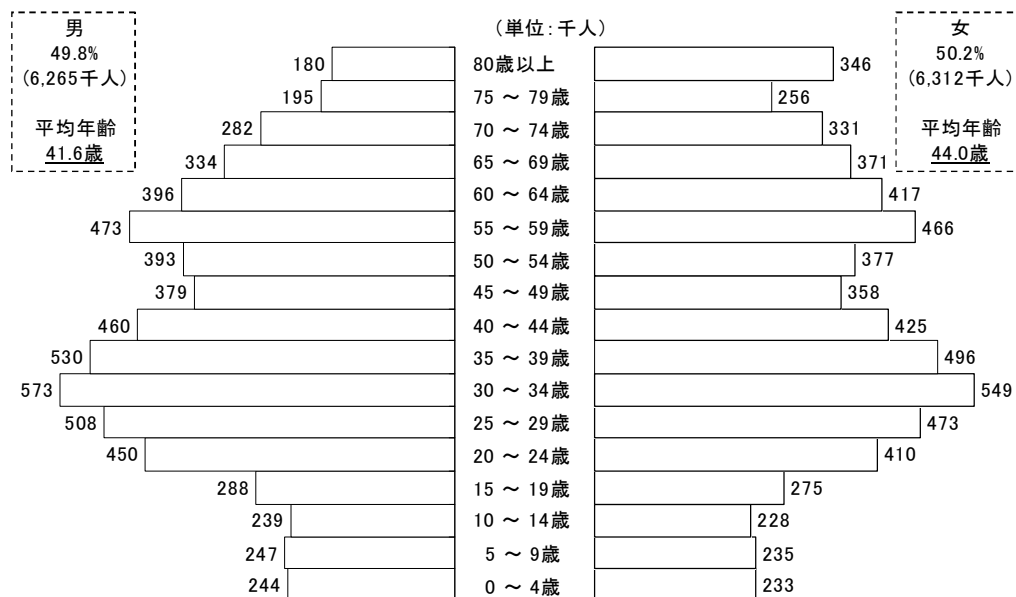
図I-1-1 性・年齢階級

（単位：人）



（注）男性47.6%、女性51.5%で合計が100%にならないのは、無回答の人がいるため。

《参考》東京都における男女別人口（総務省「国勢調査」（平成17年10月1日）による）



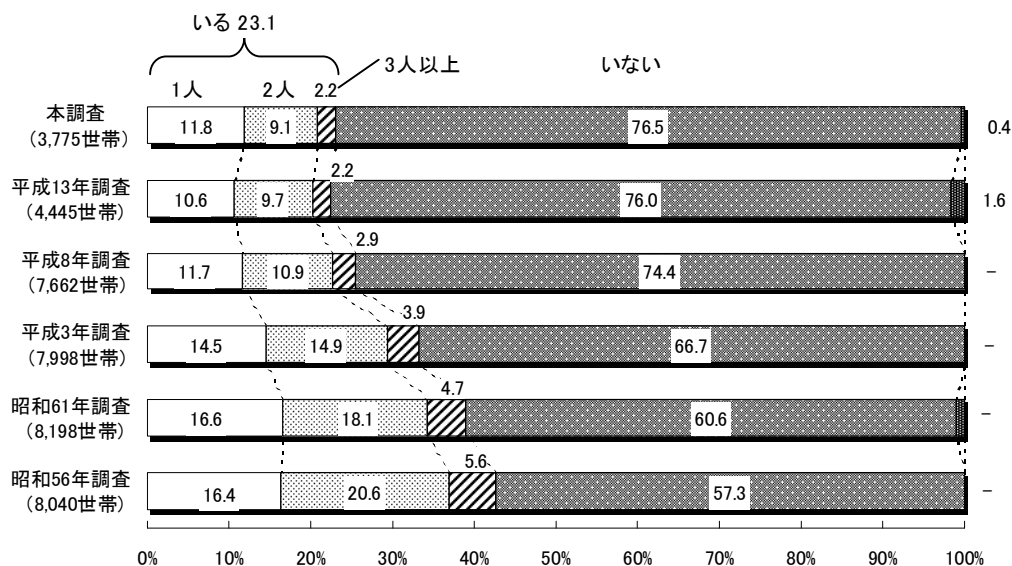
（注）図、表の番号は本文中の番号である。

(2) 18歳未満の子どもの有無—過去調査との比較

18歳未満の子どもが「いる」世帯は23.1%、「いない」世帯は76.5%となっている。

本調査のテーマを開始してから減少していた18歳未満の子どもが「いる」の割合は、わずかに増加に転じた。(図I-2-2 本文21p)

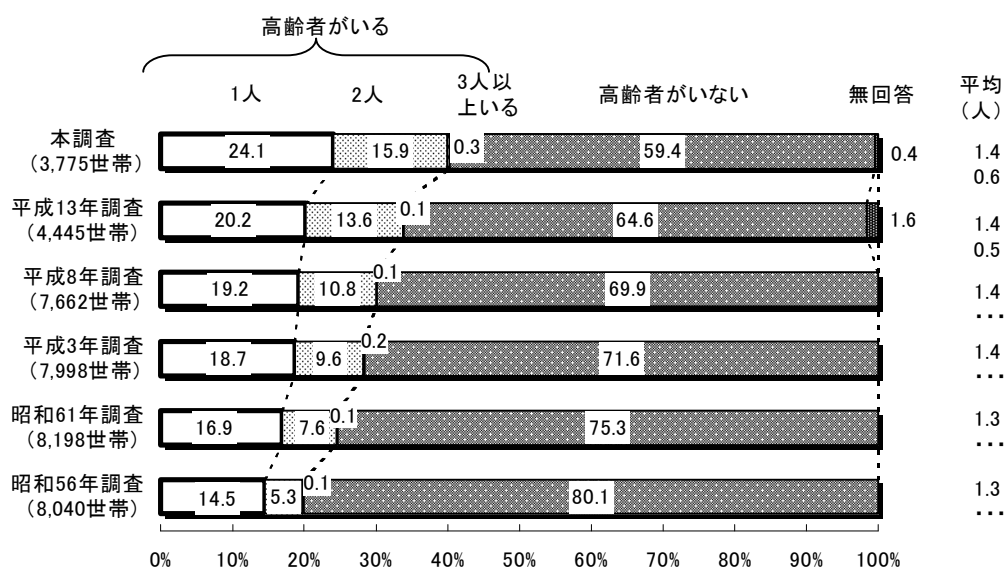
図I-2-2 18歳未満の子どもの有無—過去調査との比較



(3) 65歳以上の高齢者の有無—世帯類型別

65歳以上の高齢者が「1人」と「2人」いる世帯は、連続して増加している。過去調査と比べると、全世帯に占める65歳以上の高齢者の「いる」世帯の割合は連続して増加している。(図I-2-5 本文22p)

図I-2-5 65歳以上の高齢者の有無—過去調査との比較

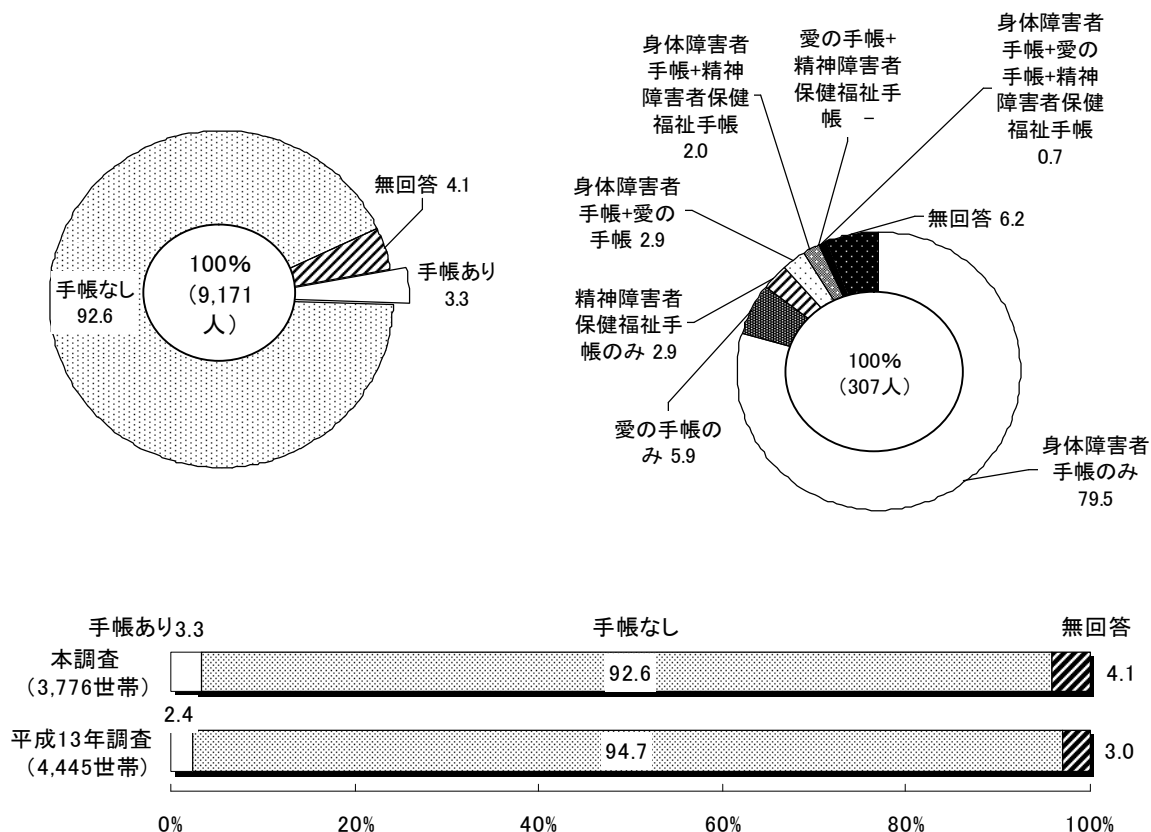


(注) 平均(人)は、上段が高齢者がいる世帯、下段が全世帯中のそれぞれの平均人数である。

(4) 手帳所持者（身体障害者・愛の手帳・精神障害者福祉手帳）の有無別－前回調査との比較

身体障害者手帳、知的障害者の愛の手帳及び精神障害者保健福祉手帳の所持状況は「手帳あり」が全世帯員のうち3.3%であった。前回調査（13年）よりも「手帳あり」の割合は増加している。（図I-2-6 本文23p）

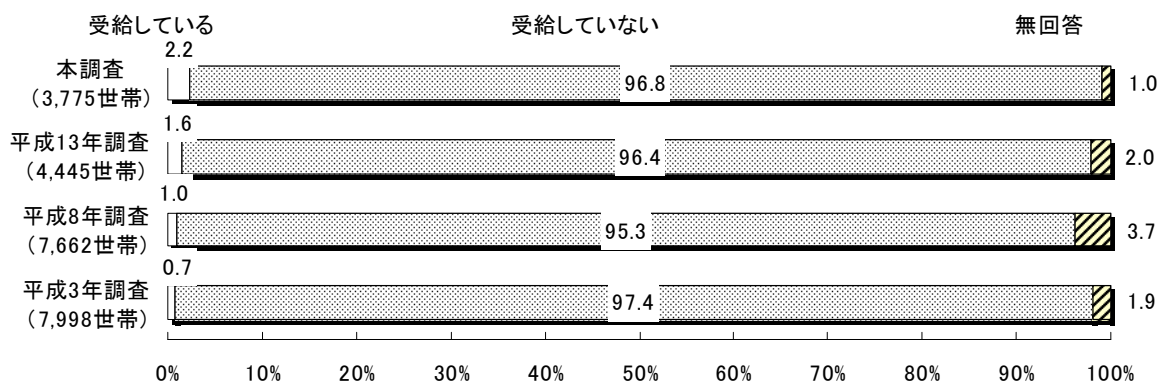
図I-2-6 手帳所持者（身体障害者・愛の手帳・精神障害者福祉手帳）の有無別－前回調査との比較



(5) 生活保護受給世帯の有無－過去調査との比較

生活保護受給世帯の有無をみると「受給している」世帯が2.2%となっている。過去調査と比較すると、生活保護を「受給している」世帯は、連続して増加している。（図I-2-7 本文23p）

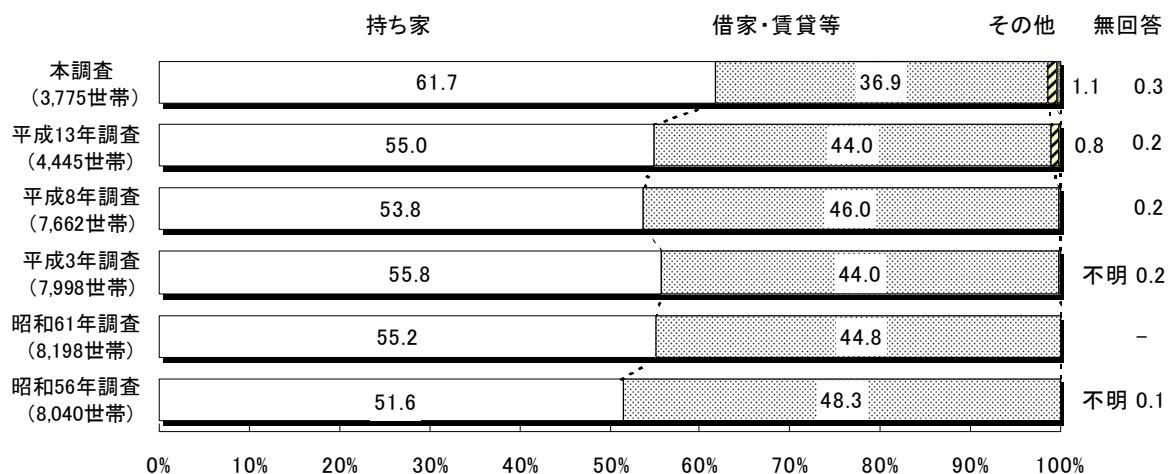
図I-2-7 生活保護受給世帯の有無－過去調査との比較



(6) 住居の種類－過去調査との比較

住居の種類の割合は「持ち家」61.7%、「借家・賃貸等」36.9%となり、「持ち家」は前回調査（13年）よりも 6.7 ポイントと過去最大の伸び幅となり、本テーマの調査を開始してから初めて、6 割を超えた。（図 I-1-5 本文 16p）

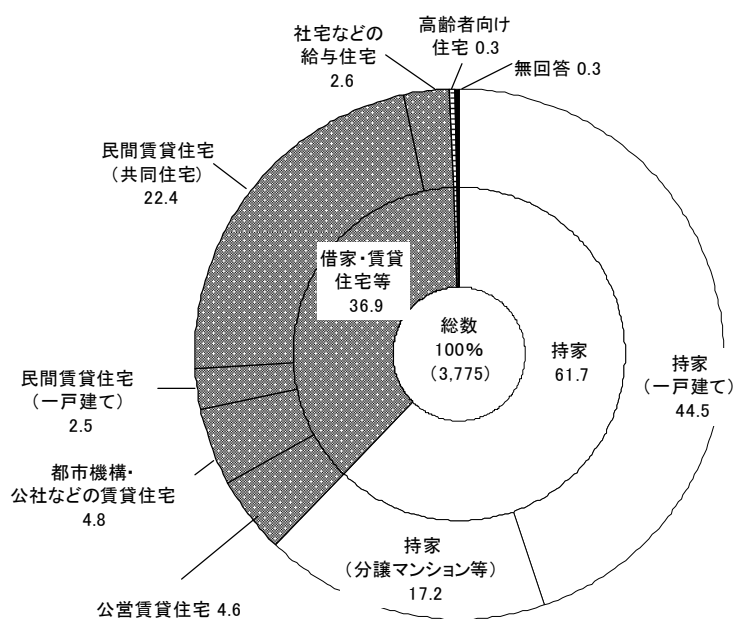
図 I-1-5 住居の種類



(7) 住居の種類－所有関係別

住居の種類を所有関係別にみると、「持家」の割合が 61.7%、「借家・賃貸住宅等」の割合が 36.9%となっている。「持家」61.7%の割合の内訳は、「持家（一戸建て）」44.5%、「持家（分譲マンション等）」17.2%となっている。（図 I-3-1 本文 27p）

図 I-3-1 住居の種類 - 所有関係別



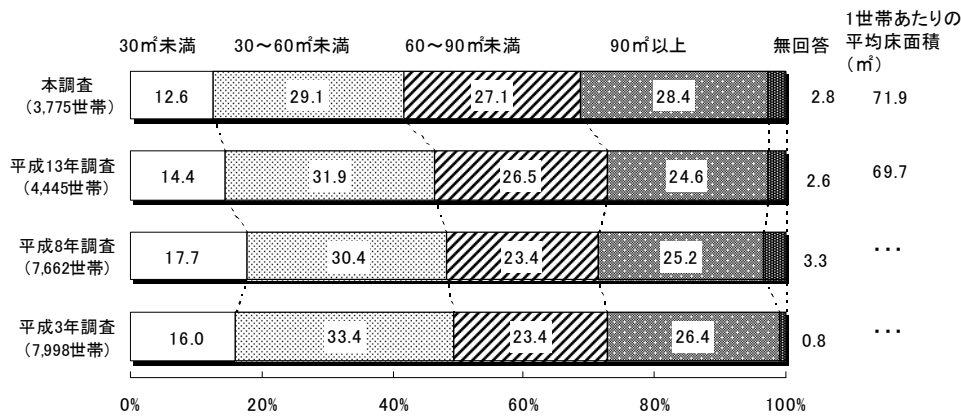
2 住居の状況

(1) 住宅の床面積－過去調査との比較

1世帯あたりの平均床面積は72㎡、前回調査よりも増加

1世帯あたりの平均床面積は71.9㎡である。床面積は「60～90㎡未満」「90㎡以上」の割合が前回調査（13年調査）よりも増加している。（図I-3-4 本文31p）

図I-3-4 住宅の床面積－過去調査との比較



(2) 居住開始時期－住宅の種類別

近年に居住を開始した住宅の種類は、分譲マンション等が中心

居住開始時期を住宅の種類別にみると持家（一戸建て）は、「平成6年以前」の割合が72.2%で総数（49.5%）より22.7ポイント高い。また、持家（分譲マンション等）は、「平成7年以降」の建物の割合が68.5%で総数（49.2%）よりも19.3ポイント高くなっており、近年に居住を開始した住宅の種類は、分譲マンション等が中心であることがいえる。（表I-3-4 本文33p）

表I-3-4 居住開始時期 - 住宅の種類

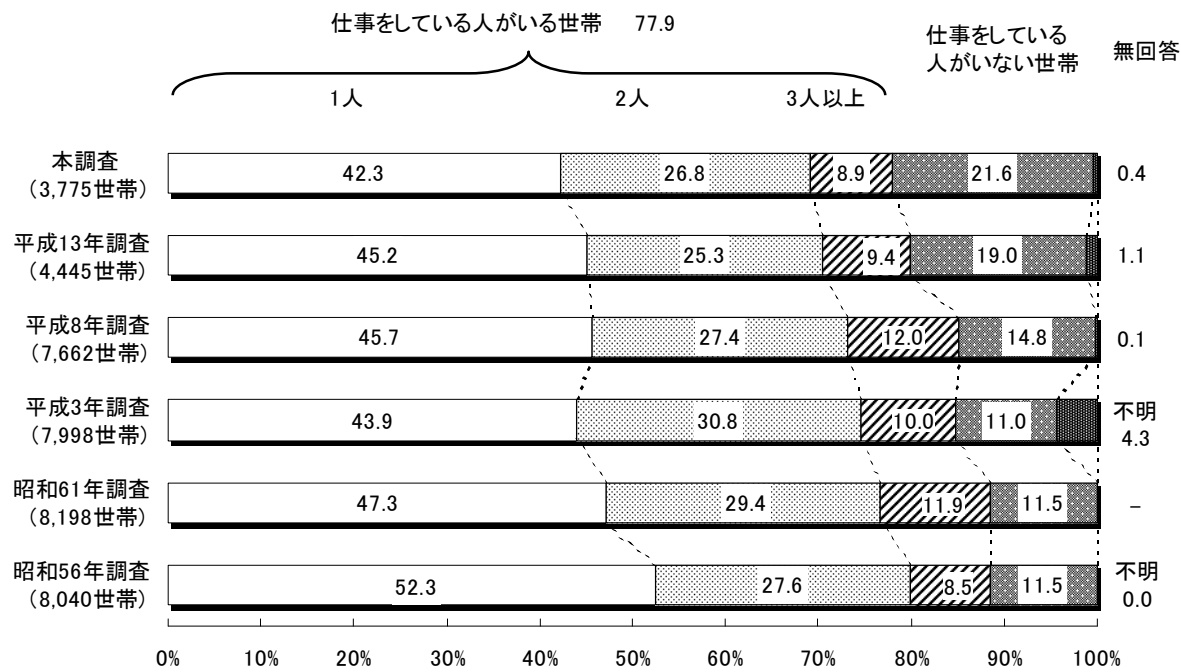
	総数	以昭和 前1 9年	2昭和 9年 20年	3昭和 9年 30年	4昭和 9年 40年	5昭和 9年 50年	平成 6年 60年	1平成 6年 70年	以平成 降1 7年	無 回 答
総数	100.0 (3,775)	3.5	4.7	6.8	9.5	12.0	13.1	37.4	11.8	1.3
持家	100.0 (2,328)	5.4	7.0	8.9	11.6	14.5	13.1	30.3	8.2	0.9
持家 （一戸建て）	100.0 (1,680)	7.4	9.3	12.1	14.2	15.5	13.6	23.3	3.6	0.9
持家 （分譲マンション等）	100.0 (648)	0.2	1.1	0.5	4.9	12.0	11.9	48.5	20.1	0.9
借家・賃貸住宅等	100.0 (1,392)	0.3	0.7	3.3	6.0	8.2	13.0	49.1	18.1	1.2
公営賃貸住宅	100.0 (175)	0.6	3.4	12.6	20.0	12.6	10.9	36.0	2.9	1.1
都市機構・公社などの 賃貸住宅	100.0 (182)	-	0.5	7.7	13.7	29.1	11.0	28.6	8.2	1.1
民間賃貸住宅 （一戸建て）	100.0 (93)	1.1	2.2	5.4	6.5	8.6	14.0	44.1	18.3	-
民間賃貸住宅 （共同住宅）	100.0 (845)	0.1	0.1	0.6	1.9	3.6	13.8	54.2	24.1	1.5
社宅などの 給与住宅	100.0 (97)	1.0	-	-	2.1	1.0	12.4	72.2	11.3	-
高齢者向け住宅	100.0 (10)	-	-	-	-	-	10.0	80.0	10.0	-
その他	100.0 (33)	6.1	6.1	12.1	9.1	3.0	12.1	42.4	6.1	3.0

3 就業の状況

(1) 就業の状況－過去調査との比較

就業の状況を見ると、「仕事をしている人がいる世帯」は、77.9%、「仕事をしている人がいない世帯」が21.6%である。「仕事をしている人がいない世帯」の割合は、平成3年調査から連続して増加し、本テーマの調査を開始してから初めて2割を超えた。(図I-1-7 本文17p)

図I-1-7 就業の状況



(2) 世帯員の勤め先での呼称－性、年齢階級別

世帯員の就業者の割合は5割、その内の約半数が「正規の職員・従業員」

世帯員(9,171人)の勤め先での呼称は就業者(51.5%)のうち「正規の職員・従業員」が最も高く24.9%、次いで「パート」5.6%、「アルバイト」3.0%と続く。性・年齢階級別にみると「正規の職員・従業員」の割合は25～29歳が最も高く52.4%、「パート」の割合は45～49歳、50～54歳の階級がそれぞれ最も高く12.4%となっている。(表I-8-4 本文73p)

表I-8-4 世帯員の勤め先での呼称－性、年齢階級別

		総 数	就 業 者	雇 用 者	正 規 の 職 員 ・ 従 業 員	パ ー ト	ア ル バ イ ト	所 属 の 派 遣 社 員	託 契 約 職 員 ・ 嘱 託	役 員	そ の 他	無 回 答	そ の 他 の 就 業 者	無 回 答	非 就 業 者	無 回 答
総数		100.0 (9,171)	51.5	40.1	24.9	5.6	3.0	1.1	2.1	2.5	0.4	0.5	10.0	1.4	47.8	0.7
性 別	男	100.0 (4,363)	61.6	48.0	36.1	1.1	2.9	0.6	2.2	4.0	0.5	0.6	12.2	1.4	37.7	0.7
	女	100.0 (4,726)	42.7	33.4	14.9	9.9	3.2	1.5	2.0	1.2	0.3	0.4	8.0	1.4	56.5	0.7
年 齢 階 級	15～19歳	100.0 (346)	14.5	13.0	0.9	0.3	11.3	0.3	0.3	－	－	－	1.2	0.3	85.0	0.6
	20～24歳	100.0 (436)	62.8	55.7	21.8	3.7	23.4	3.4	2.5	－	0.2	0.7	4.6	2.5	36.2	0.9
	25～29歳	100.0 (504)	80.4	71.4	52.4	2.8	6.5	2.8	4.2	1.6	0.8	0.4	6.7	2.2	18.7	1.0
	30～34歳	100.0 (747)	77.8	68.5	51.8	7.0	2.3	2.5	3.1	0.5	0.3	1.1	7.1	2.1	21.4	0.8
	35～39歳	100.0 (728)	76.6	65.7	49.5	7.6	2.1	2.3	1.1	1.6	0.4	1.1	8.8	2.2	22.9	0.4
	40～44歳	100.0 (666)	82.7	68.9	45.9	10.8	2.4	1.8	2.3	3.6	0.9	1.2	12.2	1.7	17.1	0.2
	45～49歳	100.0 (549)	82.7	67.9	47.9	12.4	1.1	0.4	1.5	3.3	0.5	0.9	13.3	1.5	16.8	0.5
	50～54歳	100.0 (461)	80.7	61.0	40.1	12.4	0.9	0.4	1.7	4.6	0.7	0.2	17.1	2.6	19.1	0.2
	55～59歳	100.0 (755)	73.4	56.0	35.5	9.1	1.3	0.7	1.7	6.8	0.3	0.7	15.4	2.0	25.7	0.9
	60～64歳	100.0 (608)	57.2	38.0	14.5	8.1	2.0	1.2	6.7	4.9	0.3	0.3	18.1	1.2	41.6	1.2
	65～69歳	100.0 (715)	43.2	22.5	4.3	5.9	2.9	0.4	3.9	4.1	0.7	0.3	19.6	1.1	55.9	0.8
	70～74歳	100.0 (622)	24.9	11.4	3.1	2.9	0.3	－	1.4	3.2	0.5	－	12.2	1.3	74.4	0.6
	75～79歳	100.0 (415)	15.4	4.8	1.2	0.7	0.2	－	0.2	1.9	0.5	－	10.4	0.2	83.1	1.4
	80～84歳	100.0 (220)	9.1	4.5	0.9	0.5	－	－	0.5	2.7	－	－	4.1	0.5	89.1	1.8
	85歳以上	100.0 (167)	6.6	1.2	－	－	－	－	0.6	0.6	－	－	4.8	0.6	92.2	1.2

(注) 非就業者には「仕事を探していた」者を含む。

4 経済の状況

(1) 主な世帯収入の種類-世帯類型（高齢者・母子世帯別、手帳所持者（身体障害者手帳・愛の手帳・精神障害者保健福祉手帳）がいる・いない世帯別）、過去調査との比較

主な世帯収入の「年金・恩給」の割合は、過去調査から連続して増加

主な世帯収入の種類を世帯類型別にみると「年金・恩給」の割合は、高齢者世帯が 73.5%と最も高く、次いで手帳所持者がいる世帯が 44.3%と続く。また、「生活保護」の割合は、母子世帯が 15.4%と総数の 2.0%よりも 13.4 ポイント高い。

過去調査と比較すると、「年金・恩給」の割合が連続して増加している。（表 I-4-1 本文 39p）

表 I-4-1 主な世帯収入の種類-世帯類型（高齢者・母子世帯別、手帳所持者（身体障害者手帳・愛の手帳・精神障害者保健福祉手帳）がいる・いない世帯別）、過去調査との比較

		総 数	賃 金 ・ 給 料	事 業 所 得	内 職 収 入	家 賃 ・ 地 代	利 子 ・ 配 当	仕 送 り	年 金 ・ 恩 給	生 活 保 護	保 障 の 給 付 金 そ の 他 の 社 会	雇 用 保 険	そ の 他 の 収 入	無 回 答
総数		100.0 (3,775)	57.8	7.7	0.0	2.3	0.0	1.6	<u>26.0</u>	<u>2.0</u>	0.1	0.0	1.3	1.1
高 齢 者 ・ 母 子 世 帯 別	高齢者世帯	100.0 (823)	8.6	6.2	-	5.3	-	0.4	<u>73.5</u>	4.0	-	-	1.2	0.7
	母子世帯	100.0 (52)	67.3	3.8	-	-	-	-	-	<u>15.4</u>	3.8	-	5.8	3.8
	その他の世帯	100.0 (2,883)	71.6	8.2	0.0	1.4	0.0	2.0	13.0	1.1	0.1	0.1	1.3	1.1
い る ・ い な い 世 帯 別	手帳所持者がいる	100.0 (289)	34.9	5.9	0.3	3.1	-	0.3	<u>44.3</u>	7.6	-	-	1.0	2.4
	手帳所持者がいない	100.0 (3,459)	59.8	7.9	-	2.2	0.0	1.7	24.4	1.5	0.1	0.0	1.3	0.9
13年調査		100.0 (4,445)	62.7	9.9	0.0	2.4	0.0	1.9	<u>18.6</u>	1.3	0.3	0.2	0.7	2.0
8年調査		100.0 (7,662)	67.0	10.2	0.1	2.3	0.1	2.6	<u>12.4</u>	0.9	0.2	0.1	0.4	3.8
3年調査		100.0 (7,998)	66.8	14.7	0.2	2.4	0.2	2.2	<u>10.6</u>	0.6	0.1	0.1	0.2	1.9

(2) 世帯の年間収入-世帯類型別、過去調査との比較

高齢者世帯では年間収入が「500 万円未満」の割合が 8 割

世帯の年間収入(平成 17 年)は「500 万円未満」の割合が 50.9%と 5 割を超えた。

世帯の年間収入を世帯類型別でみると「500 万円未満」の割合は、単独世帯 (80.4%)、高齢者世帯 (81.9%) と母子世帯 (90.3%) の割合が高い。(表 I-4-3 本文 41p)

表 I-4-3 世帯の年間収入-世帯類型別、過去調査との比較

		総 数	1 0 0 万 円 未 満	1 0 0 万 円 未 満	2 0 0 万 円 未 満	3 0 0 万 円 未 満	4 0 0 万 円 未 満	5 0 0 万 円 未 満	6 0 0 万 円 未 満	7 0 0 万 円 未 満	8 0 0 万 円 未 満	9 0 0 万 円 未 満	1 0 0 万 円 未 満	1 0 0 万 円 未 満	1 0 0 万 円 未 満	1 0 0 万 円 未 満	1 0 0 万 円 未 満	2 0 0 万 円 未 満	2 0 0 万 円 未 満	無 回 答
総数		100.0 (3,775)	4.1	10.1	13.0	13.0	10.7	8.8	6.3	6.0	4.6	5.1	3.5	1.8	1.6	0.8	1.2	2.7	1.6	5.3
親 族 世 帯 別	親族世帯	100.0 (2,726)	1.7	5.1	9.1	12.4	11.4	10.3	7.2	7.6	5.7	6.2	4.6	2.5	2.1	1.1	1.6	3.4	2.0	6.1
	核家族世帯	100.0 (2,466)	1.7	5.4	9.2	12.9	11.2	10.6	7.1	7.7	5.5	6.1	4.7	2.4	2.1	1.0	1.6	3.4	1.6	5.9
	その他の親族世帯	100.0 (260)	1.9	3.1	7.7	7.7	12.7	7.3	8.8	6.5	8.1	7.3	3.8	2.7	1.2	2.3	1.5	4.2	5.8	7.3
	単独世帯	100.0 (1,038)	10.4	23.1	23.4	14.5	9.0	4.6	3.8	1.7	1.6	2.0	0.5	0.2	0.5	-	0.0	0.6	0.5	3.5
高 齢 者 ・ 母 子 世 帯 別	高齢者世帯	100.0 (823)	7.8	21.4	26.2	19.3	7.2	5.8	2.1	0.6	0.6	1.8	0.9	0.5	0.1	-	0.5	0.5	0.4	4.4
	母子世帯	100.0 (52)	17.3	34.6	25.0	11.5	1.9	7.7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1.9
	その他の世帯	100.0 (2,883)	2.8	6.4	9.1	11.1	11.9	9.6	7.6	7.6	5.9	6.1	4.3	2.3	2.1	1.0	1.4	3.4	1.9	5.5
子 ど も の 有 無 別	18歳未満の子どもがいる世帯	100.0 (872)	1.3	3.8	5.2	8.7	10.3	12.7	8.7	10.7	7.6	6.5	6.2	2.8	2.9	1.7	1.1	3.4	1.6	4.8
	18歳未満の子どもがいない世帯	100.0 (2,889)	4.9	12.0	15.5	14.3	10.8	7.5	5.5	4.5	3.7	4.6	2.7	1.6	1.2	0.5	1.2	2.5	1.6	5.4
	(再掲)3歳未満の子どもがいる世帯	100.0 (232)	0.9	2.2	4.3	10.8	14.2	13.8	8.6	9.9	6.5	5.6	6.0	1.3	2.2	2.2	0.4	4.7	1.7	4.7
	(再掲)6歳未満の子どもがいる世帯	100.0 (400)	0.8	3.0	4.5	10.3	13.8	13.3	10.0	11.5	6.8	5.3	5.3	1.8	1.8	1.3	0.8	4.0	1.8	4.5
手 帳 所 持 者 別	手帳所持者がいる世帯	100.0 (289)	7.6	16.6	14.2	13.1	10.0	7.3	6.2	6.2	2.8	2.4	2.1	2.1	0.7	0.7	0.3	0.7	0.3	6.6
	手帳所持者がいない世帯	100.0 (3,459)	3.8	9.6	12.9	13.0	10.8	8.8	6.3	6.0	4.8	5.3	3.6	1.8	1.7	0.8	1.2	2.8	1.7	5.1
受 給 生 活 保 護 別	生活保護を受給している世帯	100.0 (82)	29.3	54.9	6.1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9.8
	生活保護を受給していない世帯	100.0 (3,657)	3.6	9.1	13.2	13.3	11.0	9.0	6.5	6.2	4.7	5.2	3.6	1.9	1.6	0.8	1.2	2.8	1.6	4.6
平成13年調査		100.0 (4,445)	2.4	6.7	8.8	11.0	8.8	8.1	6.4	6.6	5.7	2.9	5.6	1.7	2.1	1.2	0.7	3.5	3.3	14.5
平成8年調査		100.0 (7,662)	1.6	6.0	7.4	10.0	9.1	8.4	7.3	6.2	6.1	3.4	5.4	1.6	2.6	1.5	1.1	4.3	3.8	14.1
平成3年調査		100.0 (7,998)	1.4	6.1	7.4	9.4	8.5	9.1	8.2	6.4	6.4	4.3	5.4	2.0	2.5	1.6	1.0	3.8	3.5	13.2
昭和61年調査		100.0 (8,198)	3.3	10.2	10.6	12.2	11.9	9.6	8.2	5.5	4.7	2.8	9.7						1.5	9.8

(3) 世帯の年間収入-就業状況別、過去調査との比較

働いている人がいる世帯では年収「500 万円以上」の割合は、過去調査より減少しているが 5 割以上

世帯の年間収入（平成 17 年）を就業状況別にみると、年収「500 万円以上」の割合は働いている人がいる世帯では 54.0%と 5 割を超えている。

働いている人がいる世帯の年収「500 万円以上」の割合は、過去調査（3 年調査 59.5%→8 年調査 58.6%→13 年調査 56.2%→本調査 54.0%）から減少しているが、単身世帯の増加が大きな要因と思われる。（表 I-4-4 本文 42p）

表 I-4-4 世帯の年間収入-就業状況別

	総 数	1 0 0 万 円 未 満	1 満 0 0 万 円	2 満 0 0 万 円	3 満 0 0 万 円	4 満 0 0 万 円	5 満 0 0 万 円	6 満 0 0 万 円	7 満 0 0 万 円	8 満 0 0 万 円	9 満 0 0 万 円	1 0 満 0 0 万 円 未 満	1 1 満 0 0 万 円 未 満	1 1 満 0 0 万 円 未 満	1 1 満 0 0 万 円 未 満	1 1 満 0 0 万 円 未 満	1 1 満 0 0 万 円 未 満	2 満 0 0 万 円 未 満	2 満 0 0 万 円 未 満	2 満 0 0 万 円 未 満	2 満 0 0 万 円 未 満	2 満 0 0 万 円 未 満	2 満 0 0 万 円 未 満	2 満 0 0 万 円 未 満	2 満 0 0 万 円 未 満	2 満 0 0 万 円 未 満	2 満 0 0 万 円 未 満	2 満 0 0 万 円 未 満	2 満 0 0 万 円 未 満	2 満 0 0 万 円 未 満	2 満 0 0 万 円 未 満	2 満 0 0 万 円 未 満	2 満 0 0 万 円 未 満	2 満 0 0 万 円 未 満	2 満 0 0 万 円 未 満	2 満 0 0 万 円 未 満	2 満 0 0 万 円 未 満	2 満 0 0 万 円 未 満	2 満 0 0 万 円 未 満	2 満 0 0 万 円 未 満	2 満 0 0 万 円 未 満	2 満 0 0 万 円 未 満	2 満 0 0 万 円 未 満	2 満 0 0 万 円 未 満	2 満 0 0 万 円 未 満	2 満 0 0 万 円 未 満	2 満 0 0 万 円 未 満	2 満 0 0 万 円 未 満	2 満 0 0 万 円 未 満	2 満 0 0 万 円 未 満	2 満 0 0 万 円 未 満	2 満 0 0 万 円 未 満	2 満 0 0 万 円 未 満	2 満 0 0 万 円 未 満	2 満 0 0 万 円 未 満	2 満 0 0 万 円 未 満	2 満 0 0 万 円 未 満	2 満 0 0 万 円 未 満	2 満 0 0 万 円 未 満	2 満 0 0 万 円 未 満	2 満 0 0 万 円 未 満	2 満 0 0 万 円 未 満	2 満 0 0 万 円 未 満	2 満 0 0 万 円 未 満	2 満 0 0 万 円 未 満	2 満 0 0 万 円 未 満	2 満 0 0 万 円 未 満	2 満 0 0 万 円 未 満	2 満 0 0 万 円 未 満	2 満 0 0 万 円 未 満	2 満 0 0 万 円 未 満	2 満 0 0 万 円 未 満	2 満 0 0 万 円 未 満	2 満 0 0 万 円 未 満	2 満 0 0 万 円 未 満	2 満 0 0 万 円 未 満	2 満 0 0 万 円 未 満	2 満 0 0 万 円 未 満	2 満 0 0 万 円 未 満	2 満 0 0 万 円 未 満	2 満 0 0 万 円 未 満	2 満 0 0 万 円 未 満	2 満 0 0 万 円 未 満	2 満 0 0 万 円 未 満	2 満 0 0 万 円 未 満	2 満 0 0 万 円 未 満	2 満 0 0 万 円 未 満	2 満 0 0 万 円 未 満	2 満 0 0 万 円 未 満	2 満 0 0 万 円 未 満	2 満 0 0 万 円 未 満	2 満 0 0 万 円 未 満	2 満 0 0 万 円 未 満	2 満 0 0 万 円 未 満	2 満 0 0 万 円 未 満	2 満 0 0 万 円 未 満	2 満 0 0 万 円 未 満	2 満 0 0 万 円 未 満	2 満 0 0 万 円 未 満	2 満 0 0 万 円 未 満	2 満 0 0 万 円 未 満	2 満 0 0 万 円 未 満	2 満 0 0 万 円 未 満	2 満 0 0 万 円 未 満	2 満 0 0 万 円 未 満	2 満 0 0 万 円 未 満	2 満 0 0 万 円 未 満	2 満 0 0 万 円 未 満	2 満 0 0 万 円 未 満	2 満 0 0 万 円 未 満	2 満 0 0 万 円 未 満	2 満 0 0 万 円 未 満	2 満 0 0 万 円 未 満	2 満 0 0 万 円 未 満	2 満 0 0 万 円 未 満	2 満 0 0 万 円 未 満	2 満 0 0 万 円 未 満	2 満 0 0 万 円 未 満	2 満 0 0 万 円 未 満	2 満 0 0 万 円 未 満	2 満 0 0 万 円 未 満	2 満 0 0 万 円 未 満	2 満 0 0 万 円 未 満	2 満 0 0 万 円 未 満	2 満 0 0 万 円 未 満	2 満 0 0 万 円 未 満	2 満 0 0 万 円 未 満	2 満 0 0 万 円 未 満	2 満 0 0 万 円 未 満	2 満 0 0 万 円 未 満	2 満 0 0 万 円 未 満	2 満 0 0 万 円 未 満	2 満 0 0 万 円 未 満	2 満 0 0 万 円 未 満	2 満 0 0 万 円 未 満	2 満 0 0 万 円 未 満	2 満 0 0 万 円 未 満	2 満 0 0 万 円 未 満	2 満 0 0 万 円 未 満	2 満 0 0 万 円 未 満	2 満 0 0 万 円 未 満	2 満 0 0 万 円 未 満	2 満 0 0 万 円 未 満	2 満 0 0 万 円 未 満	2 満 0 0 万 円 未 満	2 満 0 0 万 円 未 満	2 満 0 0 万 円 未 満	2 満 0 0 万 円 未 満	2 満 0 0 万 円 未 満	2 満 0 0 万 円 未 満	2 満 0 0 万 円 未 満	2 満 0 0 万 円 未 満	2 満 0 0 万 円 未 満	2 満 0 0 万 円 未 満	2 満 0 0 万 円 未 満	2 満 0 0 万 円 未 満	2 満 0 0 万 円 未 満	2 満 0 0 万 円 未 満	2 満 0 0 万 円 未 満	2 満 0 0 万 円 未 満	2 満 0 0 万 円 未 満	2 満 0 0 万 円 未 満	2 満 0 0 万 円 未 満	2 満 0 0 万 円 未 満	2 満 0 0 万 円 未 満	2 満 0 0 万 円 未 満	2 満 0 0 万 円 未 満	2 満 0 0 万 円 未 満	2 満 0 0 万 円 未 満	2 満 0 0 万 円 未 満	2 満 0 0 万 円 未 満	2 満 0 0 万 円 未 満	2 満 0 0 万 円 未 満	2 満 0 0 万 円 未 満	2 満 0 0 万 円 未 満	2 満 0 0 万 円 未 満	2 満 0 0 万 円 未 満	2 満 0 0 万 円 未 満	2 満 0 0 万 円 未 満	2 満 0 0 万 円 未 満	2 満 0 0 万 円 未 満	2 満 0 0 万 円 未 満	2 満 0 0 万 円 未 満	2 満 0 0 万 円 未 満	2 満 0 0 万 円 未 満	2 満 0 0 万 円 未 満	2 満 0 0 万 円 未 満	2 満 0 0 万 円 未 満	2 満 0 0 万 円 未 満	2 満 0 0 万 円 未 満	2 満 0 0 万 円 未 満	2 満 0 0 万 円 未 満	2 満 0 0 万 円 未 満	2 満 0 0 万 円 未 満	2 満 0 0 万 円 未 満	2 満 0 0 万 円 未 満	2 満 0 0 万 円 未 満	2 満 0 0 万 円 未 満	2 満 0 0 万 円 未 満	2 満 0 0 万 円 未 満	2 満 0 0 万 円 未 満	2 満 0 0 万 円 未 満	2 満 0 0 万 円 未 満	2 満 0 0 万 円 未 満	2 満 0 0 万 円 未 満	2 満 0 0 万 円 未 満	2 満 0 0 万 円 未 満	2 満 0 0 万 円 未 満	2 満 0 0 万 円 未 満	2 満 0 0 万 円 未 満	2 満 0 0 万 円 未 満	2 満 0 0 万 円 未 満	2 満 0 0 万 円 未 満	2 満 0 0 万 円 未 満	2 満 0 0 万 円 未 満	2 満 0 0 万 円 未 満	2 満 0 0 万 円 未 満	2 満 0 0 万 円 未 満	2 満 0 0 万 円 未 満	2 満 0 0 万 円 未 満	2 満 0 0 万 円 未 満	2 満 0 0 万 円 未 満	2 満 0 0 万 円 未 満	2 満 0 0 万 円 未 満	2 満 0 0 万 円 未 満	2 満 0 0 万 円 未 満	2 満 0 0 万 円 未 満	2 満 0 0 万 円 未 満	2 満 0 0 万 円 未 満	2 満 0 0 万 円 未 満	2 満 0 0 万 円 未 満	2 満 0 0 万 円 未 満	2 満 0 0 万 円 未 満	2 満 0 0 万 円 未 満	2 満 0 0 万 円 未 満	2 満 0 0 万 円 未 満	2 満 0 0 万 円 未 満	2 満 0 0 万 円 未 満	2 満 0 0 万 円 未 満	2 満 0 0 万 円 未 満	2 満 0 0 万 円 未 満	2 満 0 0 万 円 未 満	2 満 0 0 万 円 未 満	2 満 0 0 万 円 未 満	2 満 0 0 万 円 未 満	2 満 0 0 万 円 未 満	2 満 0 0 万 円 未 満</
--	--------	---------------------------------	----------------------------	----------------------------	----------------------------	----------------------------	----------------------------	----------------------------	----------------------------	----------------------------	----------------------------	---	---	---	---	---	---	--------------------------------------	--------------------------------------	--------------------------------------	--------------------------------------	--------------------------------------	--------------------------------------	--------------------------------------	--------------------------------------	--------------------------------------	--------------------------------------	--------------------------------------	--------------------------------------	--------------------------------------	--------------------------------------	--------------------------------------	--------------------------------------	--------------------------------------	--------------------------------------	--------------------------------------	--------------------------------------	--------------------------------------	--------------------------------------	--------------------------------------	--------------------------------------	--------------------------------------	--------------------------------------	--------------------------------------	--------------------------------------	--------------------------------------	--------------------------------------	--------------------------------------	--------------------------------------	--------------------------------------	--------------------------------------	--------------------------------------	--------------------------------------	--------------------------------------	--------------------------------------	--------------------------------------	--------------------------------------	--------------------------------------	--------------------------------------	--------------------------------------	--------------------------------------	--------------------------------------	--------------------------------------	--------------------------------------	--------------------------------------	--------------------------------------	--------------------------------------	--------------------------------------	--------------------------------------	--------------------------------------	--------------------------------------	--------------------------------------	--------------------------------------	--------------------------------------	--------------------------------------	--------------------------------------	--------------------------------------	--------------------------------------	--------------------------------------	--------------------------------------	--------------------------------------	--------------------------------------	--------------------------------------	--------------------------------------	--------------------------------------	--------------------------------------	--------------------------------------	--------------------------------------	--------------------------------------	--------------------------------------	--------------------------------------	--------------------------------------	--------------------------------------	--------------------------------------	--------------------------------------	--------------------------------------	--------------------------------------	--------------------------------------	--------------------------------------	--------------------------------------	--------------------------------------	--------------------------------------	--------------------------------------	--------------------------------------	--------------------------------------	--------------------------------------	--------------------------------------	--------------------------------------	--------------------------------------	--------------------------------------	--------------------------------------	--------------------------------------	--------------------------------------	--------------------------------------	--------------------------------------	--------------------------------------	--------------------------------------	--------------------------------------	--------------------------------------	--------------------------------------	--------------------------------------	--------------------------------------	--------------------------------------	--------------------------------------	--------------------------------------	--------------------------------------	--------------------------------------	--------------------------------------	--------------------------------------	--------------------------------------	--------------------------------------	--------------------------------------	--------------------------------------	--------------------------------------	--------------------------------------	--------------------------------------	--------------------------------------	--------------------------------------	--------------------------------------	--------------------------------------	--------------------------------------	--------------------------------------	--------------------------------------	--------------------------------------	--------------------------------------	--------------------------------------	--------------------------------------	--------------------------------------	--------------------------------------	--------------------------------------	--------------------------------------	--------------------------------------	--------------------------------------	--------------------------------------	--------------------------------------	--------------------------------------	--------------------------------------	--------------------------------------	--------------------------------------	--------------------------------------	--------------------------------------	--------------------------------------	--------------------------------------	--------------------------------------	--------------------------------------	--------------------------------------	--------------------------------------	--------------------------------------	--------------------------------------	--------------------------------------	--------------------------------------	--------------------------------------	--------------------------------------	--------------------------------------	--------------------------------------	--------------------------------------	--------------------------------------	--------------------------------------	--------------------------------------	--------------------------------------	--------------------------------------	--------------------------------------	--------------------------------------	--------------------------------------	--------------------------------------	--------------------------------------	--------------------------------------	--------------------------------------	--------------------------------------	--------------------------------------	--------------------------------------	--------------------------------------	--------------------------------------	--------------------------------------	--------------------------------------	--------------------------------------	--------------------------------------	--------------------------------------	--------------------------------------	--------------------------------------	--------------------------------------	--------------------------------------	--------------------------------------	--------------------------------------	--------------------------------------	--------------------------------------	--------------------------------------	--------------------------------------	--------------------------------------	--------------------------------------	--------------------------------------	--------------------------------------	--------------------------------------	--------------------------------------	--------------------------------------	--------------------------------------	--------------------------------------	--------------------------------------	--------------------------------------	--------------------------------------	--------------------------------------	--------------------------------------	--------------------------------------	--------------------------------------	--------------------------------------	--------------------------------------	--------------------------------------	--------------------------------------	--------------------------------------	--------------------------------------	--------------------------------------	--------------------------------------	--------------------------------------	--------------------------------------	--------------------------------------	--------------------------------------	--------------------------------------	--------------------------------------	--------------------------------------	--------------------------------------	--------------------------------------	--------------------------------------	--------------------------------------	--------------------------------------	--------------------------------------	--------------------------------------	--

5 こどもの状況

教育・保育の状況[複数回答]-性・年齢階級、世帯類型別

「認可保育所」「小学生（学童保育利用あり）」の割合は核家族世帯の割合が高い。

集計対象者 9,171 人のうち、18 歳未満の子ども 1,392 人の教育・保育の状況をみると「未就学」は 39.1%、「就学」は 59.0%となっている。

「未就学」の内訳の割合をみると「乳幼児の父母（在宅保育）」が 14.4%と最も高く、「幼稚園」11.6%、「認可保育所」8.7%などと続く。

世帯類型別でみると、「認可保育所」「小学生（学童保育利用あり）」の割合は、その他の親族世帯よりも核家族世帯のほうが割合が高い。（表 I-9-2 本文 78p）

表 I-9-2 教育・保育の状況[複数回答]-性・年齢階級、世帯類型別

		総 数	未 就 学	認可 保育所	認証 保育所	保育 ママ	乳幼児の （在宅保 育） （乳幼児
--	--	--------	-------------	-----------	-----------	----------	---

6 高齢者の状況

(1) 高齢者の配偶者の状況－性・年齢階級別

「離別」により配偶者がいない高齢者が増加

配偶者の有無をみると「配偶者あり」が66.3%、「配偶者なし」が32.7%となっている。「配偶者なし」の内訳をみると「死別」の割合は24.1%と過去調査から連続して減少、「離別」の割合は過去調査では2%台で推移していたが、今回3.8%と増加している。(表I-10-1 本文80p)

表I-10-1 高齢者の配偶者の状況－性・年齢階級別

	総 数	あ 配 り 偶 者	な 配 し 偶 者	未 婚	死 別	離 別	無 回 答
総数	100.0 (2,141)	66.3	32.7	4.8	24.1	3.8	0.9
男	100.0 (974)	83.6	15.9	3.3	8.8	3.8	0.5
65～69歳	100.0 (344)	85.5	14.0	4.7	4.1	5.2	0.6
70～74歳	100.0 (289)	83.7	15.6	3.5	8.3	3.8	0.7
75～79歳	100.0 (195)	85.6	14.4	2.6	9.2	2.6	－
80～84歳	100.0 (93)	79.6	19.4	1.1	15.1	3.2	1.1
85歳以上	100.0 (53)	69.8	30.2	－	30.2	－	－
女	100.0 (1,165)	52.0	46.7	6.1	36.7	3.9	1.3
65～69歳	100.0 (371)	69.0	29.4	6.5	17.8	5.1	1.6
70～74歳	100.0 (333)	60.1	38.7	7.5	26.7	4.5	1.2
75～79歳	100.0 (220)	45.5	53.2	4.1	47.3	1.8	1.4
80～84歳	100.0 (127)	24.4	74.8	8.7	63.8	2.4	0.8
85歳以上	100.0 (114)	16.7	82.5	1.8	77.2	3.5	0.9
13年調査	100.0 (2,139)	66.1	31.1	3.1	25.9	2.1	2.1
8年調査	100.0 (3,150)	64.4	34.5	4.0	28.4	2.1	0.5
3年調査	100.0 (3,076)	62.7	36.3	1.7	32.2	2.4	0.8

(2) 高齢者の主な世帯収入の種類－世帯類型別、13年調査との比較

高齢者の主な世帯収入の種類は「年金・恩給」の割合が前回調査よりも増加

高齢者の主な世帯収入の種類は「年金・恩給」の割合が61.1%と最も高く、「賃金・給料」の割合が22.0%と続く。前回調査(13年調査)と比べると「賃金・給料」の割合は減少(27.2→22.0%)、「年金・恩給」の割合は増加(50.6→61.1%)している。(表I-10-2 本文81p)

表I-10-2 高齢者の主な世帯収入の種類－世帯類型別、13年調査との比較

	総 数	賃 金 ・ 給 料	事 業 所 得	内 職 収 入	家 賃 ・ 地 代	利 子 ・ 配 当	仕 送 り	年 金 ・ 恩 給	生 活 保 護	保 障 の 給 付 の 社 会 金	雇 用 保 険	そ の 他 の 収 入	無 回 答
総数	100.0 (2,141)	22.0	8.3	0.0	4.5	－	0.2	61.1	2.0	0.0	－	0.8	1.0
世帯類型別													
親族世帯	100.0 (1,717)	25.4	9.7	0.0	4.1	－	0.1	58.1	0.8	0.0	－	0.5	1.2
単独世帯	100.0 (418)	7.9	2.6	－	6.0	－	0.7	73.7	6.7	－	－	1.9	0.5
13年調査	100 (2,139)	27.2	11.1	－	5.8	0.1	0.6	50.6	1.6	0.5	0.1	0.8	1.5

7 手帳所持者の状況

手帳所持者の就業状況－性、年齢階級、手帳の所持状況別、全世帯員との比較

手帳所持者（身体障害者手帳、愛の手帳及び精神障害者保健福祉手帳のいずれかを所持している人）307人のうち、「就業者」の割合は20.2%と全世帯員（51.5%）と比べて31.3ポイント低い。

性別でみると、「就業者」は女性（13.3%）よりも男性（26.4%）の割合が高くなっている。（表 I-11-6 本文 88p）

表 I-11-6 手帳所持者の就業状況－性、年齢階級、手帳の所持状況別、全世帯員との比較

		総 数	就 業 者	主 に 仕 事	に家事 仕事 などの ほか	に通学 のかた わら	そ の 他	仕 事 を 探 し て い た	非 労 働 力 人 口	家 事 （ 専 業 ）	通 学 の み	高 齢 ・ 他 病 （ 幼 児 ・ 等 ）	無 回 答
総数		100.0 (307)	20.2	16.6	2.3	-	1.3	1.0	78.5	13.0	4.2	61.2	0.3
性 別	男	100.0 (163)	26.4	23.9	0.6	-	1.8	1.8	71.2	1.2	6.1	63.8	0.6
	女	100.0 (143)	13.3	8.4	4.2	-	0.7	-	86.7	26.6	2.1	58.0	-
年 齢 階 級 別	20歳未満	100.0 (15)	6.7	6.7	-	-	-	-	93.3	-	86.7	6.7	-
	20～39歳	100.0 (38)	47.4	42.1	-	-	5.3	2.6	50.0	5.3	-	44.7	-
	40～59歳	100.0 (67)	41.8	32.8	7.5	-	1.5	3.0	55.2	11.9	-	43.3	-
	60～79歳	100.0 (141)	9.9	7.8	1.4	-	0.7	-	89.4	19.1	-	70.2	0.7
	80歳以上	100.0 (45)	2.2	2.2	-	-	-	-	97.8	6.7	-	91.1	-
	(再掲)総数65歳以上	100.0 (163)	5.5	4.3	0.6	-	0.6	-	93.9	15.3	-	78.5	0.6
手 帳 の 所 持 状 況 別	身体障害者手帳のみ	100.0 (244)	19.7	16.4	2.5	-	0.8	0.4	79.5	16.0	1.2	62.3	0.4
	愛の手帳のみ	100.0 (18)	44.4	38.9	-	-	5.6	-	55.6	-	16.7	38.9	-
	精神障害者保健福祉手帳のみ	100.0 (9)	-	-	-	-	-	11.1	88.9	-	-	88.9	-
	身体＋愛	100.0 (9)	22.2	11.1	-	-	11.1	-	77.8	-	44.4	33.3	-
	身体＋精神	100.0 (6)	-	-	-	-	-	-	100.0	-	-	100.0	-
	愛＋精神	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	三種類	100.0 (2)	50.0	-	50.0	-	-	-	50.0	-	-	50.0	-
全世帯員		100.0 (9,171)	51.5	40.3	8.5	1.4	1.2	1.4	46.4	15.2	11.7	19.6	0.7

8 介助の状況

手助けや見守りが必要になった主な理由－性・年齢階級別

手助けや見守りを受けている人（要介助者）の手助けや見守りが必要になった主な理由は、「高齢による身体の衰え」の割合が3割で最も高い。

手助けや見守りを受けている人（要介助者）269 人の手助けや見守りが必要になった主な理由は、「高齢による身体の衰え」の割合が32.0%で最も高く、次いで「身体障害」が28.6%と続く。

65 歳以上の高齢者では、手助けや見守りが必要になった主な理由が「高齢による身体の衰え」の割合が42.6%、「認知症」の割合が11.2%となっている。（表 I-12-2 本文 93p）

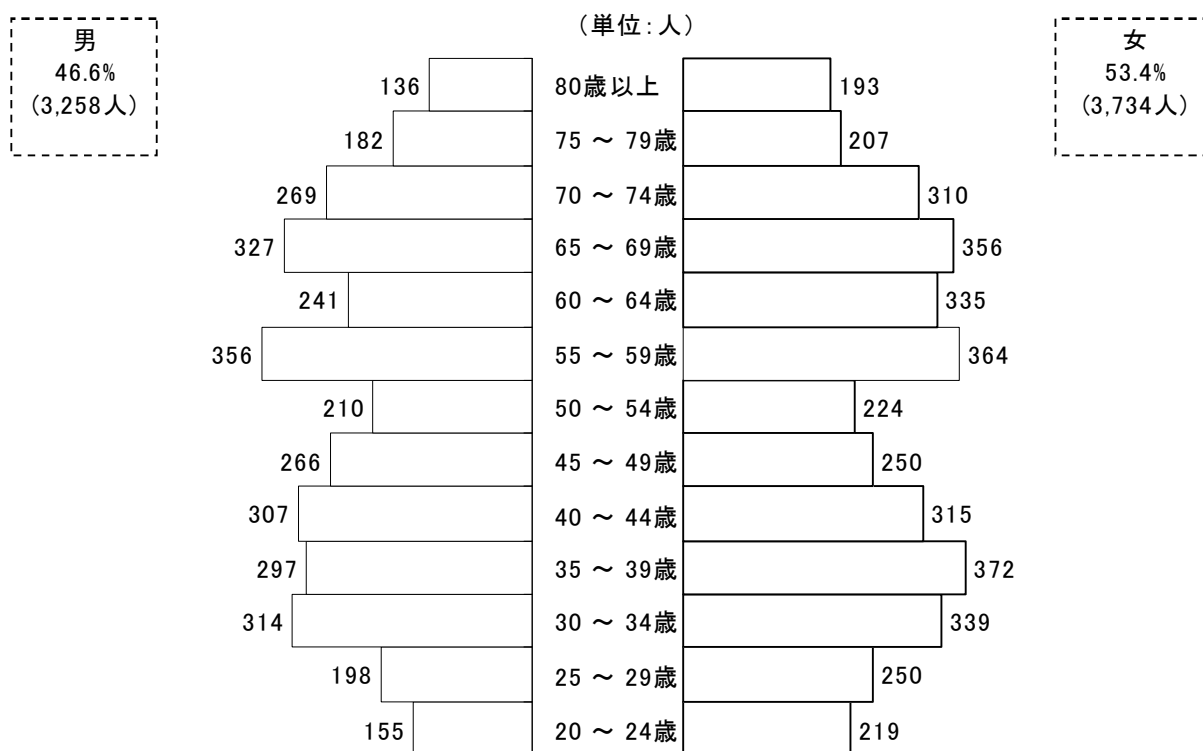
表 I-12-2 手助けや見守りが必要になった主な理由－性・年齢階級別

		総 数	身 体 障 害	知 的 障 害	精 神 障 害	長 期 病 間 に わ た る	認 知 症	高 齢 に よ る 身 体 の 衰 え	そ の 他	無 回 答
総数		100.0 (269)	28.6	4.5	4.8	12.3	8.9	32.0	6.7	2.2
性 別	男	100.0 (119)	35.3	5.9	2.5	11.8	5.9	26.9	10.1	1.7
	女	100.0 (149)	23.5	3.4	6.7	12.8	11.4	35.6	4.0	2.7
年 齢 階 級 別	10歳未満	100.0 (4)	25.0	50.0	－	25.0	－	－	－	－
	10～19歳	100.0 (6)	33.3	50.0	－	－	－	－	16.7	－
	20～29歳	100.0 (7)	14.3	28.6	42.9	－	－	－	14.3	－
	30～39歳	100.0 (17)	23.5	29.4	35.3	11.8	－	－	－	－
	40～49歳	100.0 (7)	57.1	－	－	－	－	－	14.3	28.6
	50～59歳	100.0 (20)	50.0	－	10.0	10.0	10.0	5.0	10.0	5.0
	60～69歳	100.0 (35)	42.9	－	2.9	17.1	5.7	14.3	11.4	5.7
	70～79歳	100.0 (70)	38.6	－	1.4	18.6	7.1	25.7	8.6	－
	80歳以上	100.0 (102)	12.7	－	－	8.8	14.7	59.8	2.9	1.0
	(再掲)総数65歳以上	100.0 (197)	25.4	－	0.5	13.7	11.2	42.6	6.1	0.5
	男 65歳以上	100.0 (82)	30.5	－	1.2	13.4	7.3	37.8	8.5	1.2
	女 65歳以上	100.0 (115)	21.7	－	－	13.9	13.9	46.1	4.3	－

第2部 福祉、保健医療に関する実態と意識・・・3,775世帯（集計対象世帯）の 満20歳以上の世帯員6,996人の状況

「福祉、保健医療に関する実態と意識」は、東京都の福祉や保健医療の現状と今後などについて調査したものである。集計対象世帯3,775世帯の満20歳以上の世帯員9,828人を調査対象とし、6,996人から回答を得た。回答者の性・年齢階級の内訳については、次のとおりである。（図Ⅱ-1-1 本文99p）

図Ⅱ-1-1 回答者の性・年齢階級



（注）総数6,996人にならないのは、年齢・性別不明の人が4名いるため。

1 食生活の状況

(1) 1日の食事の栄養バランス－世帯類型（18歳未満の子どもの有無、高齢者、母子等）、配偶者の有無別

主食・主菜・副菜を「3食ともそろえている」割合は高齢者世帯が高く4割以上

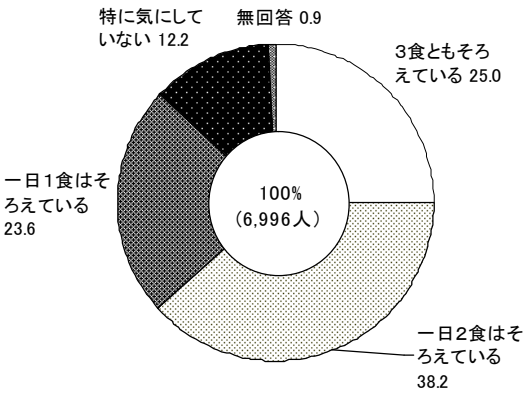
ふだんの1日の食事（3食）のうち、何回、主食・主菜・副菜をそろえた食事をしているか尋ねたところ、「一日2食はそろえている」の割合が最も高く38.2%、次いで「3食ともそろえている」25.0%、「一日1食はそろえている」23.6%と続いた。（図Ⅱ-1-2 本文101p）

世帯類型別（18歳未満の子どもの有無）でみると「一日1食はそろえている」「一日2食はそろえている」の割合は、子どもがいない世帯と比べて子どもがいる世帯の方が高い。

世帯類型別（高齢者、母子等）では、高齢者世帯の「3食ともそろえている」の割合が42.2%と高くなっている。（表Ⅱ-1-1 本文103p）

問 あなたは、ふだんの1日の食事（3食）のうち、何回、主食、副菜をそろえた食事をしていますか。

図Ⅱ-1-2 1日の食事の栄養バランス



表Ⅱ-1-1 1日の食事の栄養バランス

－世帯類型（18歳未満の子どもの有無、高齢者、母子等）、配偶者の有無別

		総 数	ろ 一 日 一 食 は そ ろ え て い る	ろ 一 日 二 食 は そ ろ え て い る	え 三 食 と も そ ろ え て い る	い 特 に 気 に し て い な い	無 回 答	
総数		100.0 (6,996)	23.6	38.2	25.0	12.2	0.9	
子 ど も が い る 世 帯 (18 歳 未 満 の 子 ど も の 有 無)	子どもがいる世帯	100.0 (1,720)	<u>28.7</u>	<u>43.2</u>	17.6	9.7	0.9	
	子どもがいない世帯	100.0 (5,253)	<u>22.0</u>	<u>36.6</u>	27.5	13.0	1.0	
世 帯 類 型 別 (高 齢 者 、 母 子 等)	高齢者世帯	100.0 (1,172)	13.6	33.9	<u>42.2</u>	9.3	1.1	
	母子世帯	100.0 (49)	28.6	44.9	16.3	10.2	—	
	その他の世帯	100.0 (5,749)	25.6	39.1	21.6	12.8	0.9	
配 偶 者 の 有 無 別	配偶者あり	100.0 (4,618)	23.3	40.3	26.9	8.7	0.8	
	配偶者なし	100.0 (2,337)	24.3	34.2	21.4	18.9	1.2	
		未婚	100.0 (1,484)	27.4	32.4	15.2	23.9	1.1
		死別	100.0 (552)	14.9	37.3	38.8	7.4	1.6
		離別	100.0 (301)	26.9	37.2	19.9	15.3	0.7

(2) 朝食の有無－性・年齢階級別

「朝食を食べない(欠食) ことがある」割合は、男女ともに 20 代の割合が高い。

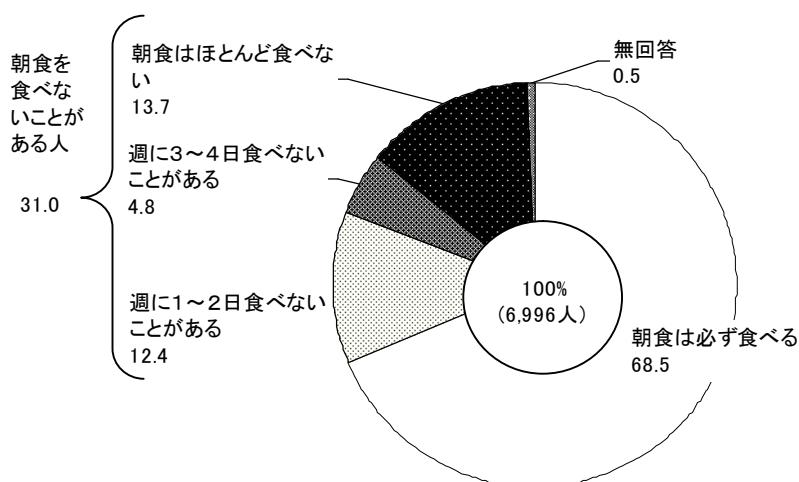
朝食の有無について尋ねたところ、「朝食は必ず食べる」の割合は 68.5%であった。

一方、「朝食はほとんど食べない」13.7%、「週に 3～4 日食べないことがある」4.8%、「週に 1～2 日食べないことがある」12.4%、と朝食を食べない(欠食する) ことがある人の割合は 31.0%であった。(図 II-1-4 本文 104p)

性・年齢階級別でみると「朝食を食べない(欠食) ことがある」の割合は、男女ともに 20 代の割合が高く男性 63.2%、女性 51.4%となっている。一方、「朝食は必ず食べる」の割合は年齢が上がるとともに増加している。(図 II-1-5 本文 105p)

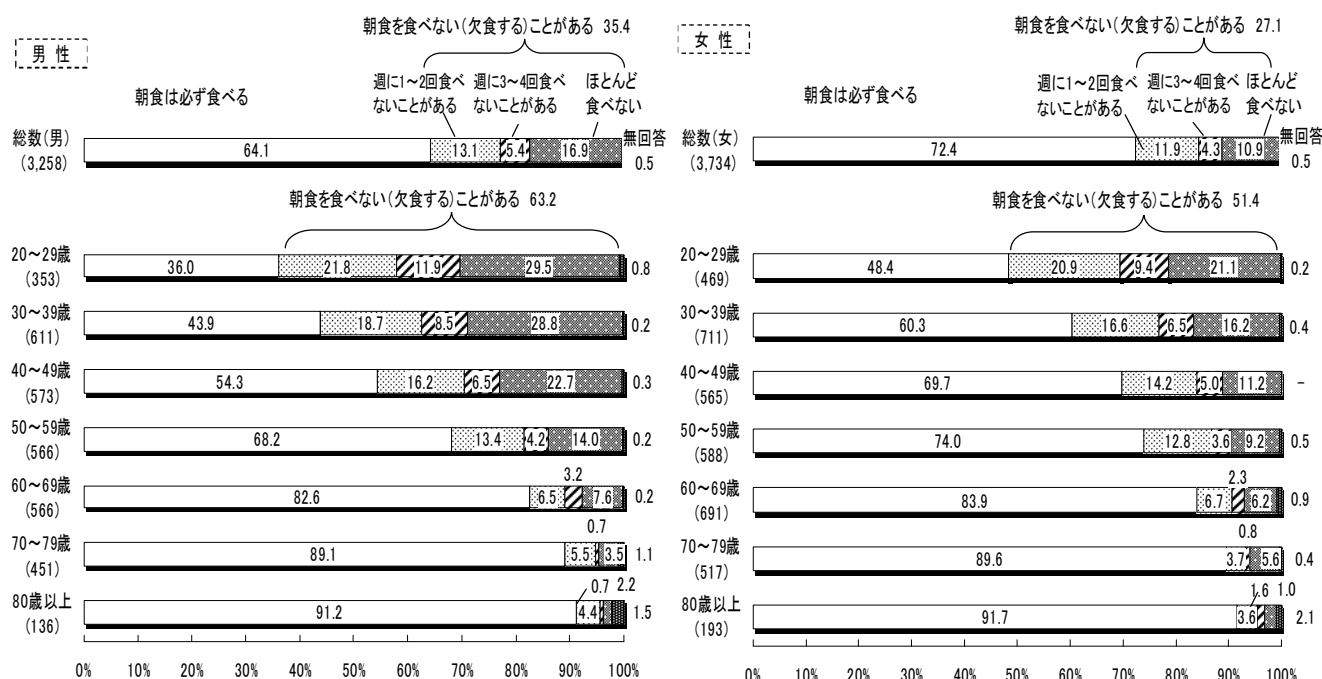
問 あなたはふだん朝食を食べない(欠食する)ことがありますか。

図 II-1-4 朝食の有無



(注)「菓子、果物、乳製品、嗜好飲料、錠剤のサプリメント、栄養ドリンク剤のみの場合は欠食としている。

図 II-1-5 朝食の有無－性・年齢階級別



2 喫煙の状況

1 日の喫煙本数－健康状態別

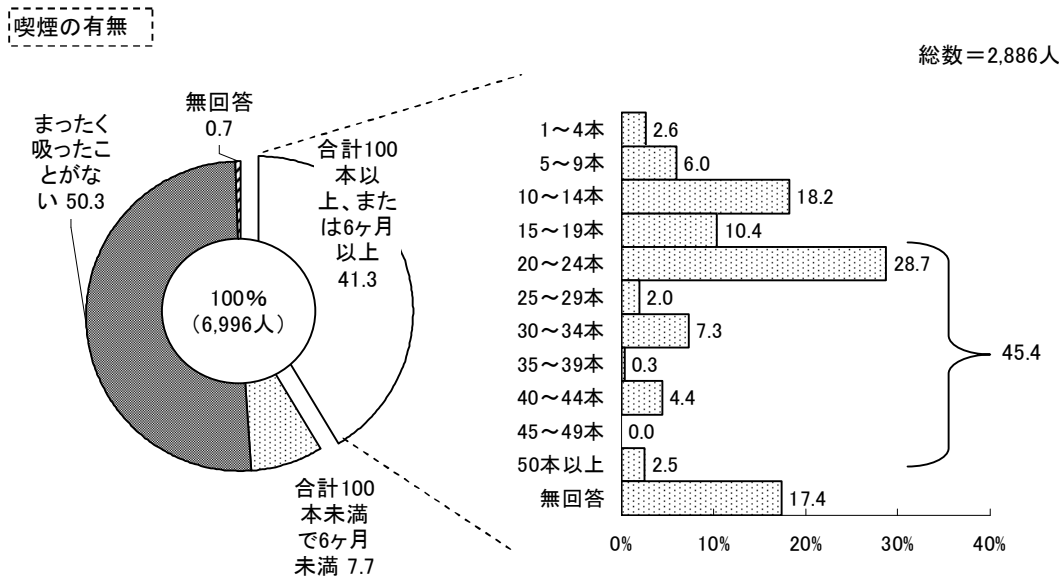
1 日 50 本以上喫煙する人の約 4 人に 1 人は、健康状態がよくないと回答

これまでにたばこを吸った合計が 100 本以上、または 100 本以下でも 6 ケ月以上吸っている（吸っていた）人 2,886 人の 1 日の喫煙本数について尋ねたところ、「20～24 本」の割合が 28.7%で最も高く、20 本以上の割合は 45.4%であった。（図Ⅱ-3-5 本文 124p）

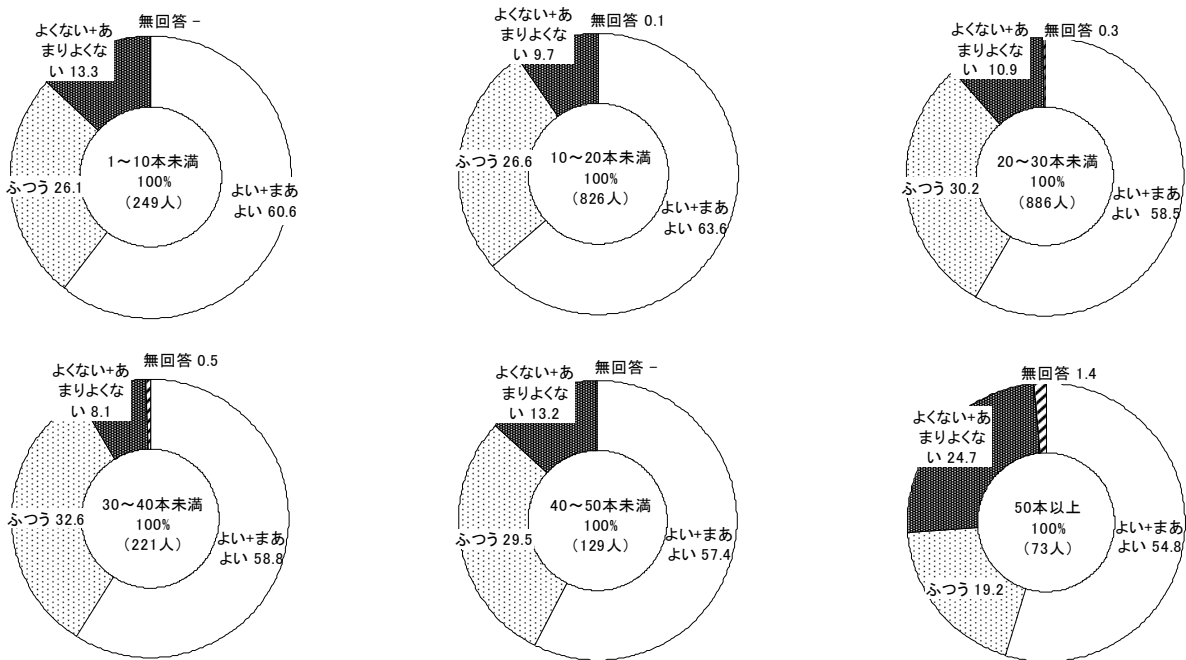
1 日の喫煙本数について、健康状態別にみると、よい及びまあよいの割合が最も高い喫煙本数は「10～20 本未満」で 63.6%である。一方、健康状態がよくない及びあまりよくないの割合が最も高い喫煙本数は「50 本以上」で 24.7%であった。（図Ⅱ-3-7 本文 126p）

問 あなたは通常、1 日に何本たばこを吸いますか（吸っていましたか）。

図 Ⅱ-3-5 1 日の喫煙本数



図Ⅱ-3-7 1 日の喫煙本数－健康状態別



3 健診の状況

健診結果の指摘の有無と指摘の内容－性・年齢階級別

健診結果の「指摘あり」の割合は、女性よりも男性の方が高く、指摘の内容の「肥満」は男性 30 代、40 代で 2 割以上

過去 1 年間に健診・人間ドックを受診したことが「ある」と回答した人は 69.4%と約 7 割であった。そのうち、「肥満」「高血圧症」「糖尿病」「血中の脂質異常」のいずれかの指摘を受けたものは 47.4%と 5 割弱にのぼった。(図Ⅱ-5-5 本文 138p)

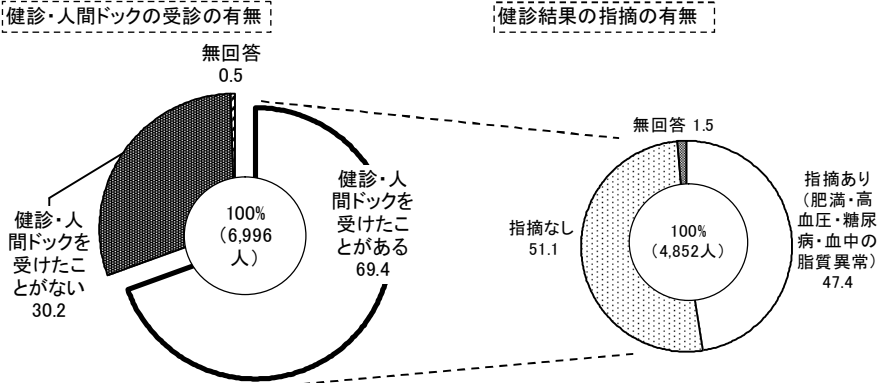
健診結果の指摘の有無を性別でみると、「指摘あり」の割合は女性 (42.2%) よりも男性 (52.6%) の方が高い。また、指摘の内容の「肥満」の割合は、男性の 30 代、40 代が高く 2 割を超えている。(表Ⅱ-5-2 本文 139p)

問 あなたは過去 1 年間に、健診（健康診断や健康診査）や人間ドックを受けたことがありますか。

問 健診の結果、次のような（肥満、高血圧症、糖尿病、血中の脂質異常）指摘を受けましたか。

図Ⅱ-5-5

健診結果の
指摘の有無



表Ⅱ-5-2 健診・人間ドック受診の有無と指摘の内容[複数回答]－性・年齢階級別

	総 数	指 摘 あ り	肥 満	高 い 血 圧 が	高 い 血 糖 が	糖 尿 病 が	血 中 の 脂 質 異 常	脂 質 異 常 ・ 血 中 の 糖 ・ 尿 高	指 摘 な し	無 回 答
総数	100.0 (4,852)	47.4	14.1	22.4	7.2	19.4	51.1	1.5		
男	100.0 (2,427)	52.6	17.2	25.6	8.8	20.7	46.1	1.2		
20～29歳	100.0 (193)	11.4	8.8	2.1	0.5	3.1	86.5	2.1		
30～39歳	100.0 (448)	37.7	21.2	7.4	2.0	18.1	61.8	0.4		
40～49歳	100.0 (446)	51.3	21.5	14.3	4.5	28.7	48.0	0.7		
50～59歳	100.0 (443)	62.5	19.4	33.2	11.7	27.1	36.3	1.1		
60～69歳	100.0 (418)	62.7	17.2	40.2	11.7	20.6	36.1	1.2		
70～79歳	100.0 (369)	66.7	11.7	41.5	17.9	18.4	30.6	2.7		
80歳以上	100.0 (110)	65.5	8.2	47.3	14.5	12.7	33.6	0.9		
女	100.0 (2,422)	42.2	11.0	19.2	5.6	18.1	56.1	1.8		
20～29歳	100.0 (235)	11.9	5.5	1.7	-	5.1	87.2	0.9		
30～39歳	100.0 (370)	15.4	6.2	0.8	0.8	8.9	83.5	1.1		
40～49歳	100.0 (372)	27.2	10.8	5.1	3.2	14.8	72.3	0.5		
50～59歳	100.0 (385)	46.2	13.0	17.9	5.2	23.9	51.4	2.3		
60～69歳	100.0 (507)	57.8	14.2	27.0	6.5	26.4	39.6	2.6		
70～79歳	100.0 (412)	64.8	13.8	38.3	12.4	23.1	33.0	2.2		
80歳以上	100.0 (141)	68.8	8.5	52.5	11.3	12.8	28.4	2.8		

4 がん検診の受診状況

(1) がん検診の受診率[複数回答]、一性・年齢階級別

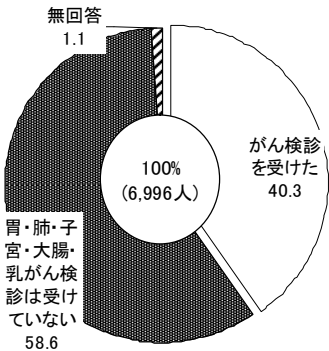
「乳がん検診」を受診した40歳以上の女性は22.8%

過去1年間に胃・肺・子宮・大腸・乳がん検診のいずれかを受診したものは40.3%（2,816人）であった。（図Ⅱ-6-1 本文148p）

がん検診の受診率を「がん予防重点教育及びがん検診実施のための指針」（対象は胃がん40歳以上、肺がん40歳以上、大腸がん40歳以上、子宮がん20歳以上女性、乳がん40歳以上女性）に沿って、みてみると胃がん検診29.9%、肺がん検診20.3%、大腸がん24.9%、子宮がん検診23.5%、乳がん検診22.8%であった。（表Ⅱ-6-1 本文150p）

問 あなたは過去1年間に、がん検診（胃がん、肺がん、子宮がん、大腸がん、乳がん）を受けましたか。

図Ⅱ-6-1
がん検診の受診の有無



表Ⅱ-6-1
がん検診の受診率

	総 数	け診が たをん 受検	検胃 診がん	検肺 診がん	ん子 検宮 診が	ん大 検腸 診が	検乳 診がん	な受ん腸子胃 いけ検・宮・ て診乳・肺 いはが大・	無 回 答
総数	100.0 (6,996)	40.3	23.7	16.7	12.6	19.1	10.8	58.6	1.1
男	100.0 (3,258)	37.4	27.8	20.2	-	21.1	...	61.3	1.2
20～29歳	100.0 (353)	5.1	2.5	4.2	-	1.4	...	94.9	-
30～39歳	100.0 (611)	23.1	16.9	15.2	-	9.7	-	75.9	1.0
40～49歳	100.0 (573)	42.8	36.3	25.7	-	24.8	...	55.8	1.4
50～59歳	100.0 (566)	48.9	41.5	27.0	-	26.1	-	50.4	0.7
60～69歳	100.0 (568)	46.7	32.9	24.1	-	28.2	...	51.8	1.6
70～79歳	100.0 (451)	49.0	30.8	19.1	-	31.5	...	48.3	2.7
80歳以上	100.0 (136)	39.0	18.4	19.1	-	23.5	-	60.3	0.7
(再掲)40歳以上	100.0 (2,294)	46.3	34.6	23.9	-	27.2	...	52.3	1.6
女	100.0 (3,734)	42.7	20.1	13.6	23.5	17.3	20.1	56.3	1.0
20～29歳	100.0 (469)	19.2	1.9	2.6	14.3	1.5	3.6	80.2	0.6
30～39歳	100.0 (711)	40.9	11.8	8.7	32.8	7.7	21.1	58.5	0.6
40～49歳	100.0 (565)	56.5	26.4	19.5	40.0	22.1	37.0	43.4	0.2
50～59歳	100.0 (588)	48.3	28.4	18.7	27.9	21.4	25.9	50.5	1.2
60～69歳	100.0 (691)	51.4	29.2	19.8	20.1	27.1	21.9	47.8	0.9
70～79歳	100.0 (517)	40.4	21.5	12.8	7.7	23.6	12.0	57.6	1.9
80歳以上	100.0 (193)	24.9	14.0	6.2	4.7	12.4	4.7	72.0	3.1
(再掲)40歳以上	100.0 (2,554)	47.6	25.7	17.0	22.6	22.9	22.8	51.3	1.2
(再掲)総数(男女40歳以上)	100.0 (4,852)	46.9	29.9	20.3	-	24.9	-	51.8	1.3

(注) 男性の乳がん検診受診者7名はサンプル数が少ないため(…)と省略した。

(2) 乳がん検診の受診状況[複数回答]

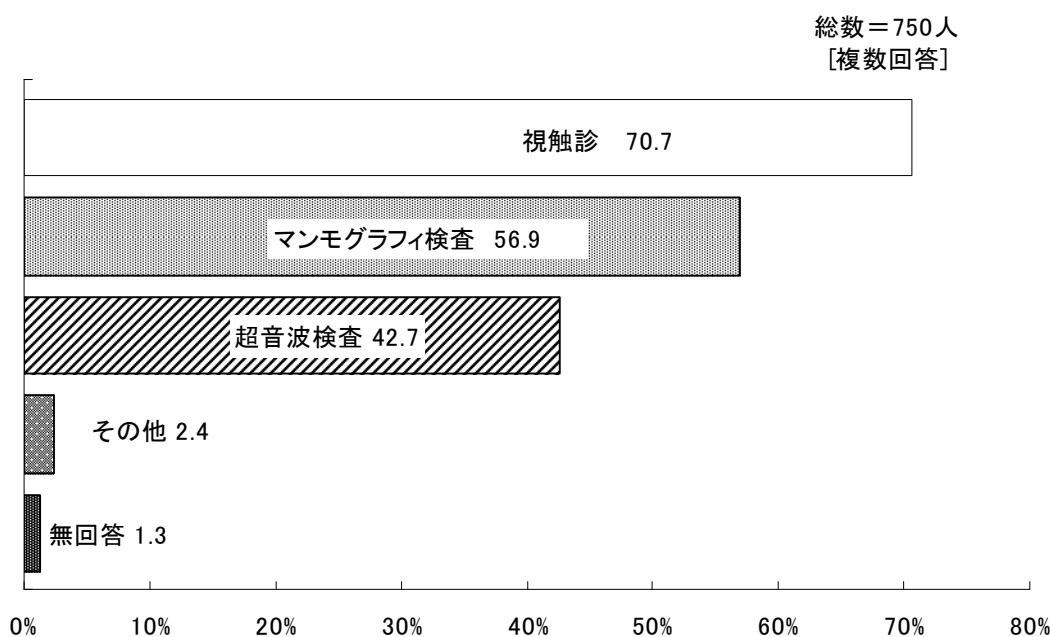
乳がん検診を受診した者のうち「マンモグラフィ検査」を受診した割合は、40歳以上の女性で6割以上

乳がん検診を受けた女性750人に検診の方法を尋ねたところ、「視触診」の割合が最も高く70.7%、次いで「マンモグラフィ(乳房X線)検査」が56.9%、「超音波検査(エコー)」が42.7%であった。(図Ⅱ-6-4 本文152p)

マンモグラフィ(乳房X線)検査の割合を女性の年齢階級別にみると、40歳以上では61.6%と総数(56.9%)よりも高い結果であった。(図Ⅱ-6-5 本文153p)

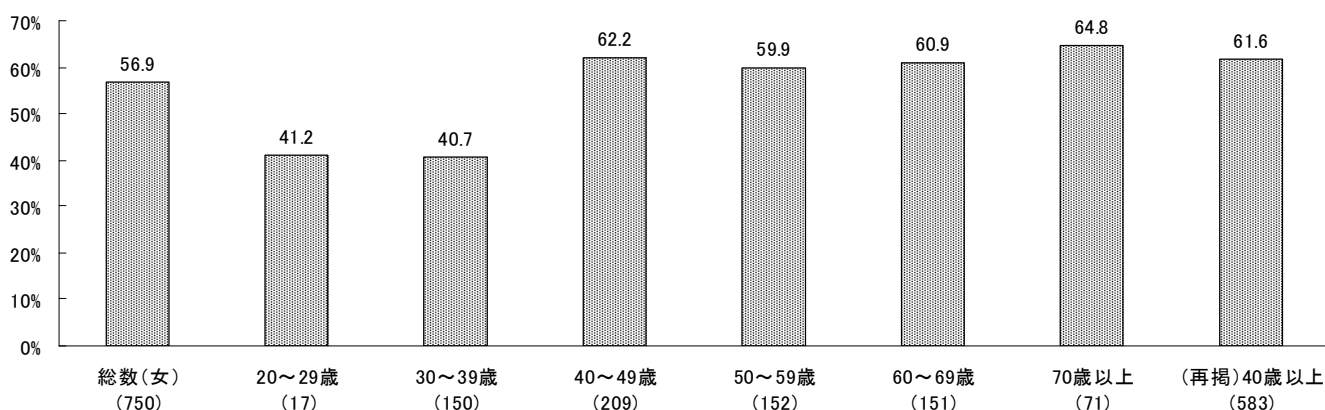
問 (乳がん) 検診の方法は何でしたか。

図Ⅱ-6-4 乳がん検診の受診状況



(注) 男性の乳がん検診受診者7名はサンプル数が少ないため省略した。

図Ⅱ-6-5 マンモグラフィ検査の受診状況—女性・年齢階級別



(注) ・総数750人は女性の人数である。

・マンモグラフィ検査は、視触診検査等の併用も含む。

5 悩みやストレスの状況

悩みやストレスの状況－仕事の種類別

サービスの仕事をしている人は、7割以上が「悩みやストレスがある」と回答

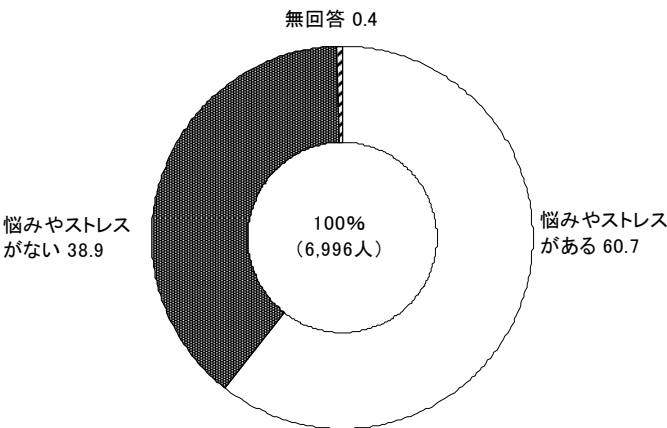
日常生活において、現在悩みやストレスがあるか尋ねたところ「ある」と回答した人は60.7%であった。

(図Ⅱ-7-1 本文 162p)

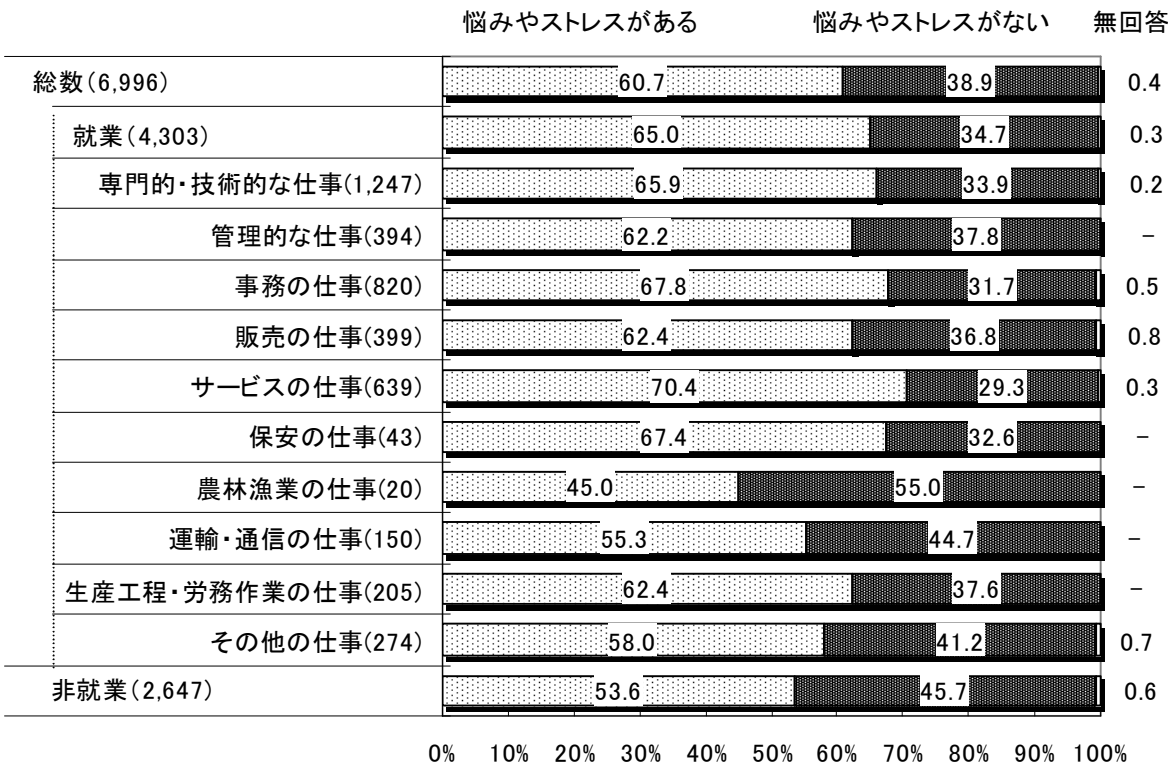
悩みやストレスの状況を仕事の種類別にみると、「悩みやストレスがある」と答えた人の割合は、就業者が65.0%、非就業者が53.6%と就業者の方が高くなっている。特に、サービスの仕事をしている人は、悩みやストレスがある人の割合が70.4%と7割を超えている。(図Ⅱ-7-3 本文 164p)

問 あなたは現在、日常生活で悩みやストレスがありますか。

図Ⅱ-7-1 悩みやストレスの状況



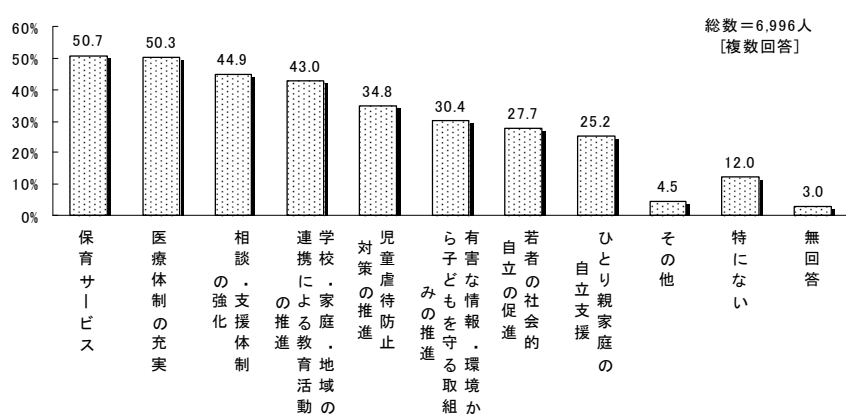
図Ⅱ-7-3 悩みやストレスの状況－仕事の種類別



(1) 子育て支援のために重要なこと〔複数回答〕 一性・年齢階級別

子育て支援のために重要だと思うことを性・年齢階級別にみると、「医療体制の充実（小児・母子医療）」と「保育サービス（時間外保育・病児保育など）の充実」と答えた割合は、30代男性及び20代、30代の女性で6割を超えている。また、「学校・家庭・地域の連携による教育活動の推進」の割合は、男女ともに40代が高くなっている（男性48.2%、女性50.3%）。（表Ⅱ-8-1 本文172p）

図Ⅱ-8-1 子育て支援のために重要なこと



	総 数	制 相 談 の 強 ・ 支 援 体	子 実 医 療 小 児 科 の 充 満	な 育 へ 時 間 サ ー の 充 保 保 実 育	保 育 の 推 進 教 育 活 動	地 域 の 連 携 ・ 学 校 ・ 家 庭 ・ 道 ・ 就 労 促 進 な ど	自 立 の 促 進 的 な 取 組 み	対 児 童 の 虐 待 防 止	確 保 の 推 進 な ど	の 自 立 を 支 援 す る 機 会 の 創 出	環 境 を 守 る 取 組 み	有 害 な 情 報 の 取 組 み	そ 他	特 に な い	無 回 答
総数	100.0 (6,996)	44.9	50.3	50.7	43.0	27.7	34.8	25.2	30.4	4.5	12.0	3.0			
男	100.0 (3,258)	43.3	48.5	47.4	43.2	27.7	31.8	23.1	27.0	4.4	13.8	2.5			
20～29歳	100.0 (353)	40.8	52.7	51.6	36.5	29.7	32.0	23.5	19.8	4.5	16.4	-			
30～39歳	100.0 (611)	46.2	61.9	60.6	45.7	22.1	32.6	24.4	26.7	6.5	6.1	0.8			
40～49歳	100.0 (573)	47.1	58.3	52.9	48.2	26.9	34.4	25.1	29.7	5.6	7.7	0.7			
50～59歳	100.0 (566)	42.9	44.3	46.3	44.5	29.9	31.3	22.1	23.9	3.0	13.8	2.3			
60～69歳	100.0 (568)	43.0	42.1	41.2	45.2	33.1	31.7	24.3	27.8	3.0	15.5	2.8			
70～79歳	100.0 (451)	40.6	34.6	35.7	38.8	27.9	31.3	20.8	31.5	4.0	22.0	7.3			
80歳以上	100.0 (136)	33.1	27.2	24.3	30.1	17.6	21.3	13.2	30.1	2.9	33.8	7.4			
女	100.0 (3,734)	46.4	51.8	53.6	42.8	27.6	37.5	27.2	33.4	4.6	10.5	3.4			
20～29歳	100.0 (469)	50.5	61.6	69.3	39.2	23.2	40.5	34.8	30.7	6.0	6.2	0.9			
30～39歳	100.0 (711)	49.1	68.5	68.5	43.2	18.8	37.7	28.4	32.8	8.0	3.8	1.4			
40～49歳	100.0 (565)	48.5	57.3	55.0	50.3	31.7	38.1	29.0	36.5	4.4	4.1	1.2			
50～59歳	100.0 (588)	55.6	52.6	60.2	49.8	38.9	44.0	29.6	36.4	4.4	6.6	1.4			
60～69歳	100.0 (691)	44.7	46.6	44.1	47.5	31.3	40.1	25.9	38.2	3.3	11.6	4.8			
70～79歳	100.0 (517)	34.6	31.1	33.3	30.2	25.3	28.2	19.9	28.2	1.2	23.4	9.7			
80歳以上	100.0 (193)	29.5	22.8	24.4	23.3	17.6	23.3	15.0	20.2	2.6	37.8	7.3			

(2) 仕事と家庭の両立のために充実した方がよいこと〔複数回答〕－性・年齢階級別

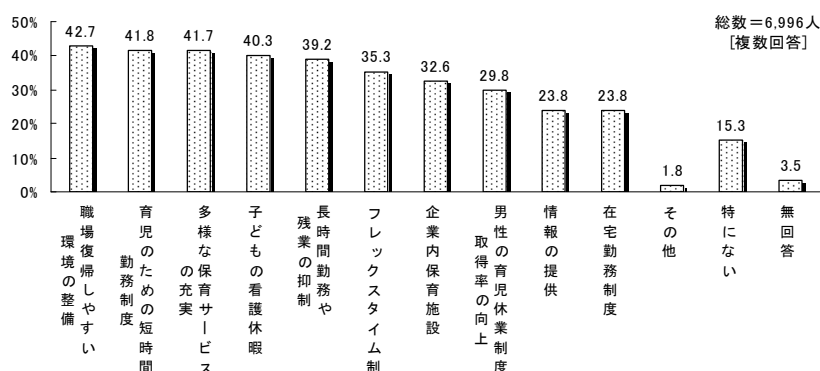
仕事と家庭の両立のために「育児のための短時間勤務制度」の充実を挙げる 20 代、30 代女性は 6 割以上、「男性の育児休業取得率の向上」を挙げた 20 代、30 代男性は 4 割弱

仕事と家庭の両立のために充実した方がよいと思われることを尋ねたところ「職場復帰しやすい環境の整備（育児休業中の定期的な情報交換など）」42.7%、「育児のための短時間勤務制度」41.8%、「多様な保育サービスの充実（時間外保育・病児保育など）」41.7%が 4 割強の回答となった。（図Ⅱ-8-2 本文 174p）

仕事と家庭の両立のために充実した方がよいことを性・年齢階級別にみると、20 代、30 代女性では、「育児のための短時間勤務制度」と答えた人が最も多く 6 割以上、「男性の育児休業制度取得率の向上」と回答している 20 代、30 代男性の割合は 4 割弱と、他の年代の男性と比べて高くなっている。（表Ⅱ-8-3 本文 175p）

問 子育て支援のために重要だと思われることはどんなことですか。

図Ⅱ-8-1 子育て支援のために重要なこと



表Ⅱ-8-3 仕事と家庭の両立のために充実した方がよいこと〔複数回答〕－性・年齢階級別

	総 数	休 暇 子 ど も の 看 護	度短育 時児 間勤 間務 間の ため の制	長時 業間 の勤 務抑 制や	フ レ ク ス タ イ ム 制	在 宅 勤 務 制 度	設 企 業 内 保 育 施	多 様 な 保 育 サ ー ビ ス の 充 実 （ ・時 ・病 ・児 間 間 保 外 育 保 充 など ）	男 性 の 業 制 度 の 取 得 率 の 向 上	情 報 の 交 換 的 な 情 報 （ ど ）	備 中 の 定 期 休 業 の 場 合 に も あ る こ と を 考 へ た 上 で 、 職 場 の 環 境 を 改 善 し 、 役 立 つ も の を 提 供 す る こ と を 考 へ た 上 で 、 情 報 の 交 換 的 な 情 報 （ ど ）	そ の 他	特 に な い	無 回 答
総数	100.0 (6,996)	40.3	41.8	39.2	35.3	23.8	32.6	41.7	29.8	42.7	23.8	1.8	15.3	3.5
男	100.0 (3,258)	32.6	34.9	39.3	33.2	23.6	27.5	36.8	28.2	37.9	21.1	1.7	17.9	3.0
20～29歳	100.0 (353)	41.4	40.2	49.6	36.5	25.8	26.3	34.6	38.0	42.2	21.5	2.0	17.3	-
30～39歳	100.0 (611)	38.1	41.1	44.8	39.3	28.6	30.8	38.0	38.1	39.4	23.7	2.3	7.9	0.8
40～49歳	100.0 (573)	34.4	35.1	38.0	36.3	28.3	30.9	41.7	31.8	38.4	23.4	1.6	12.6	1.0
50～59歳	100.0 (566)	29.3	33.2	39.2	33.6	21.4	26.5	40.5	24.2	40.1	20.7	1.6	19.1	2.7
60～69歳	100.0 (568)	29.6	35.4	35.7	32.4	19.4	26.8	38.6	20.6	38.2	21.3	1.8	20.6	3.3
70～79歳	100.0 (451)	28.4	28.4	33.9	24.2	19.7	24.8	29.0	21.5	34.8	18.0	1.3	26.8	8.2
80歳以上	100.0 (136)	18.4	19.1	25.7	16.2	16.2	16.9	20.6	14.0	17.6	9.6	0.7	41.9	11.0
女	100.0 (3,734)	47.1	47.8	39.0	37.1	23.9	37.1	46.0	31.2	46.9	26.2	1.8	12.9	4.0
20～29歳	100.0 (469)	59.5	62.0	50.3	51.2	30.5	45.4	53.3	46.7	60.8	30.5	1.7	5.3	0.9
30～39歳	100.0 (711)	58.4	62.4	41.9	43.3	32.8	46.8	58.5	39.0	50.8	32.8	3.7	4.6	1.4
40～49歳	100.0 (565)	51.7	50.1	41.2	45.1	27.6	37.3	48.7	29.9	52.4	26.0	1.4	6.2	1.1
50～59歳	100.0 (588)	49.3	49.5	44.2	40.0	24.5	40.5	51.9	32.7	54.1	30.4	1.4	9.2	1.9
60～69歳	100.0 (691)	41.1	39.4	37.0	31.7	17.7	34.0	41.0	27.5	41.7	24.2	0.9	15.3	6.2
70～79歳	100.0 (517)	30.2	29.6	25.5	20.9	14.1	23.4	28.6	17.2	31.5	16.6	1.4	28.6	11.4
80歳以上	100.0 (193)	21.2	25.4	22.3	10.9	10.9	17.1	20.7	15.0	20.2	12.4	3.1	42.5	8.8

7 児童・高齢者虐待

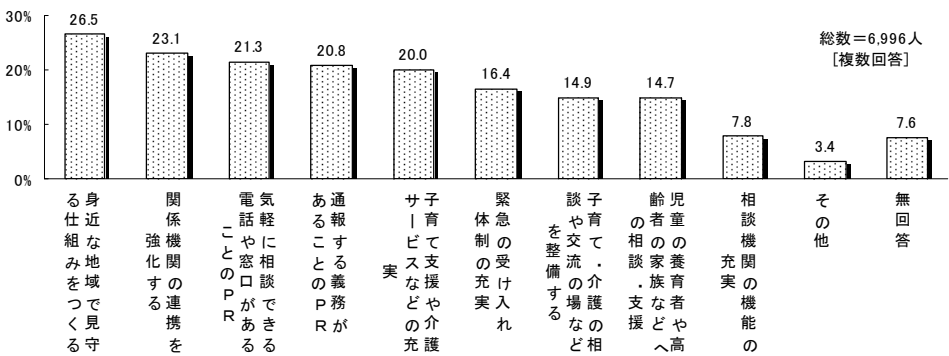
児童・高齢者虐待の防止策〔複数回答〕－性・年齢階級別

児童・高齢者虐待の防止策「身近な地域で見守る仕組みをつくる」の割合は 65 歳以上の高齢者で高く 3 割

児童・高齢者虐待はどうすれば防止できるか尋ねたところ、「身近な地域で見守る仕組みをつくる」が最も多く 26.5%、次いで「関係機関の連携を強化する」23.1%、「気軽に相談できる電話や窓口があることのPR」21.3%と続く。(図Ⅱ-9-2 本文 180p) 児童・高齢者虐待の防止策を性・年齢階級別にみると、「身近な地域で見守る仕組みをつくる」の割合は 65 歳以上で高く、30.8%と 3 割を超えている。(表Ⅱ-9-3 本文 181p)

問 児童虐待や高齢者虐待はどうすれば防止できると思いますか。

図Ⅱ-9-2
児童・高齢者虐待の防止策



表Ⅱ-9-3 児童・高齢者虐待の防止策〔複数回答〕－性・年齢階級別

	総 数	る身 仕近 組な み地 域で 見守 る	実サ ー育 ビ支 援な どの 介充 護	実子 の育 の支 援な どの 充	実の 相 談・ 支 援な どの 充	年齢 の 養 育 者 や 高 齢 者 の 支 援	児童 の 養 育 者 や 高 齢 者 の 支 援	整 備 す る 場 な ど を	消 す る た め の 相 談 解 決	安 や ス ト レ ス を 不 安 に 変 え る	子 育 て ・ 介 護 の 不 安 を 減 ら す	思 わ れ て い る 子 ど も と の 関 係	高 齢 者 を 支 援 す る た め の 機 能 の 充 実	思 わ れ て い る 子 ど も と の 関 係	高 齢 者 を 支 援 す る た め の 機 能 の 充 実	思 わ れ て い る 子 ど も と の 関 係	高 齢 者 を 支 援 す る た め の 機 能 の 充 実	思 わ れ て い る 子 ど も と の 関 係	高 齢 者 を 支 援 す る た め の 機 能 の 充 実	思 わ れ て い る 子 ど も と の 関 係	高 齢 者 を 支 援 す る た め の 機 能 の 充 実	思 わ れ て い る 子 ど も と の 関 係	高 齢 者 を 支 援 す る た め の 機 能 の 充 実	思 わ れ て い る 子 ど も と の 関 係	高 齢 者 を 支 援 す る た め の 機 能 の 充 実	思 わ れ て い る 子 ど も と の 関 係	高 齢 者 を 支 援 す る た め の 機 能 の 充 実	思 わ れ て い る 子 ど も と の 関 係	高 齢 者 を 支 援 す る た め の 機 能 の 充 実	思 わ れ て い る 子 ど も と の 関 係	高 齢 者 を 支 援 す る た め の 機 能 の 充 実	思 わ れ て い る 子 ど も と の 関 係	高 齢 者 を 支 援 す る た め の 機 能 の 充 実	思 わ れ て い る 子 ど も と の 関 係	高 齢 者 を 支 援 す る た め の 機 能 の 充 実	思 わ れ て い る 子 ど も と の 関 係	高 齢 者 を 支 援 す る た め の 機 能 の 充 実	思 わ れ て い る 子 ど も と の 関 係	高 齢 者 を 支 援 す る た め の 機 能 の 充 実	思 わ れ て い る 子 ど も と の 関 係	高 齢 者 を 支 援 す る た め の 機 能 の 充 実	思 わ れ て い る 子 ど も と の 関 係	高 齢 者 を 支 援 す る た め の 機 能 の 充 実	思 わ れ て い る 子 ど も と の 関 係	高 齢 者 を 支 援 す る た め の 機 能 の 充 実	思 わ れ て い る 子 ど も と の 関 係	高 齢 者 を 支 援 す る た め の 機 能 の 充 実	思 わ れ て い る 子 ど も と の 関 係	高 齢 者 を 支 援 す る た め の 機 能 の 充 実	思 わ れ て い る 子 ど も と の 関 係	高 齢 者 を 支 援 す る た め の 機 能 の 充 実	思 わ れ て い る 子 ど も と の 関 係	高 齢 者 を 支 援 す る た め の 機 能 の 充 実	思 わ れ て い る 子 ど も と の 関 係	高 齢 者 を 支 援 す る た め の 機 能 の 充 実	思 わ れ て い る 子 ど も と の 関 係	高 齢 者 を 支 援 す る た め の 機 能 の 充 実	思 わ れ て い る 子 ど も と の 関 係	高 齢 者 を 支 援 す る た め の 機 能 の 充 実	思 わ れ て い る 子 ど も と の 関 係	高 齢 者 を 支 援 す る た め の 機 能 の 充 実	思 わ れ て い る 子 ど も と の 関 係	高 齢 者 を 支 援 す る た め の 機 能 の 充 実	思 わ れ て い る 子 ど も と の 関 係	高 齢 者 を 支 援 す る た め の 機 能 の 充 実	思 わ れ て い る 子 ど も と の 関 係	高 齢 者 を 支 援 す る た め の 機 能 の 充 実	思 わ れ て い る 子 ど も と の 関 係	高 齢 者 を 支 援 す る た め の 機 能 の 充 実	思 わ れ て い る 子 ど も と の 関 係	高 齢 者 を 支 援 す る た め の 機 能 の 充 実	思 わ れ て い る 子 ど も と の 関 係	高 齢 者 を 支 援 す る た め の 機 能 の 充 実	思 わ れ て い る 子 ど も と の 関 係	高 齢 者 を 支 援 す る た め の 機 能 の 充 実	思 わ れ て い る 子 ど も と の 関 係	高 齢 者 を 支 援 す る た め の 機 能 の 充 実	思 わ れ て い る 子 ど も と の 関 係	高 齢 者 を 支 援 す る た め の 機 能 の 充 実	思 わ れ て い る 子 ど も と の 関 係	高 齢 者 を 支 援 す る た め の 機 能 の 充 実	思 わ れ て い る 子 ど も と の 関 係	高 齢 者 を 支 援 す る た め の 機 能 の 充 実	思 わ れ て い る 子 ど も と の 関 係	高 齢 者 を 支 援 す る た め の 機 能 の 充 実	思 わ れ て い る 子 ど も と の 関 係	高 齢 者 を 支 援 す る た め の 機 能 の 充 実	思 わ れ て い る 子 ど も と の 関 係	高 齢 者 を 支 援 す る た め の 機 能 の 充 実	思 わ れ て い る 子 ど も と の 関 係	高 齢 者 を 支 援 す る た め の 機 能 の 充 実	思 わ れ て い る 子 ど も と の 関 係	高 齢 者 を 支 援 す る た め の 機 能 の 充 実	思 わ れ て い る 子 ど も と の 関 係	高 齢 者 を 支 援 す る た め の 機 能 の 充 実	思 わ れ て い る 子 ど も と の 関 係	高 齢 者 を 支 援 す る た め の 機 能 の 充 実	思 わ れ て い る 子 ど も と の 関 係	高 齢 者 を 支 援 す る た め の 機 能 の 充 実	思 わ れ て い る 子 ど も と の 関 係	高 齢 者 を 支 援 す る た め の 機 能 の 充 実	思 わ れ て い る 子 ど も と の 関 係	高 齢 者 を 支 援 す る た め の 機 能 の 充 実	思 わ れ て い る 子 ど も と の 関 係	高 齢 者 を 支 援 す る た め の 機 能 の 充 実	思 わ れ て い る 子 ど も と の 関 係	高 齢 者 を 支 援 す る た め の 機 能 の 充 実	思 わ れ て い る 子 ど も と の 関 係	高 齢 者 を 支 援 す る た め の 機 能 の 充 実	思 わ れ て い る 子 ど も と の 関 係	高 齢 者 を 支 援 す る た め の 機 能 の 充 実	思 わ れ て い る 子 ど も と の 関 係	高 齢 者 を 支 援 す る た め の 機 能 の 充 実	思 わ れ て い る 子 ど も と の 関 係	高 齢 者 を 支 援 す る た め の 機 能 の 充 実	思 わ れ て い る 子 ど も と の 関 係	高 齢 者 を 支 援 す る た め の 機 能 の 充 実	思 わ れ て い る 子 ど も と の 関 係	高 齢 者 を 支 援 す る た め の 機 能 の 充 実	思 わ れ て い る 子 ど も と の 関 係	高 齢 者 を 支 援 す る た め の 機 能 の 充 実	思 わ れ て い る 子 ど も と の 関 係	高 齢 者 を 支 援 す る た め の 機 能 の 充 実	思 わ れ て い る 子 ど も と の 関 係	高 齢 者 を 支 援 す る た め の 機 能 の 充 実	思 わ れ て い る 子 ど も と の 関 係	高 齢 者 を 支 援 す る た め の 機 能 の 充 実	思 わ れ て い る 子 ど も と の 関 係	高 齢 者 を 支 援 す る た め の 機 能 の 充 実	思 わ れ て い る 子 ど も と の 関 係	高 齢 者 を 支 援 す る た め の 機 能 の 充 実	思 わ れ て い る 子 ど も と の 関 係	高 齢 者 を 支 援 す る た め の 機 能 の 充 実	思 わ れ て い る 子 ど も と の 関 係	高 齢 者 を 支 援 す る た め の 機 能 の 充 実	思 わ れ て い る 子 ど も と の 関 係	高 齢 者 を 支 援 す る た め の 機 能 の 充 実	思 わ れ て い る 子 ど も と の 関 係	高 齢 者 を 支 援 す る た め の 機 能 の 充 実	思 わ れ て い る 子 ど も と の 関 係	高 齢 者 を 支 援 す る た め の 機 能 の 充 実
--	--------	---------------------------------------	---------------------------------------	---------------------------------	-------------------------------------	---	---	--------------------------------------	--	---	---	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--

8 重要だと思う障害者への支援、障害者の一般就労へ向けた企業の役割

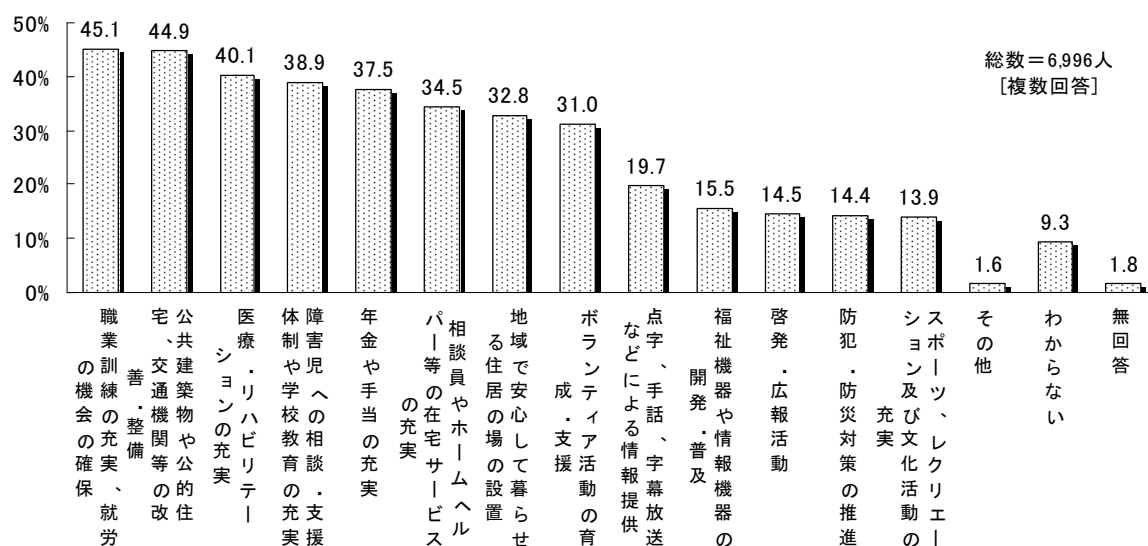
重要だと思う障害者への施策は「職業訓練の充実、就労の機会の確保」が最も多く、就労に向けた企業の役割は「職場の上司や理解」が過半数

障害のある人に関する行政の施策でもっと力を入れてもらいたいと思うものは何か尋ねたところ、「職業訓練の充実、就労機会の確保」(45.1%)「公共建築物や公的住宅、交通機関などの改善・整備」(44.9%)を挙げる人が多く、4割を超えた。(図Ⅱ-10-1 本文 183p)

また、障害のある人の就労に向けた企業などの役割として重要だと思われることを尋ねたところ、「職場の上司や同僚の理解」が最も多く 56.1%、次いで「法定雇用率達成への取組」41.7%、「事業所などの構造・設備の改善・整備(バリアフリー化などを含む)」41.1%と続いた。(図Ⅱ-10-3 本文 186p)

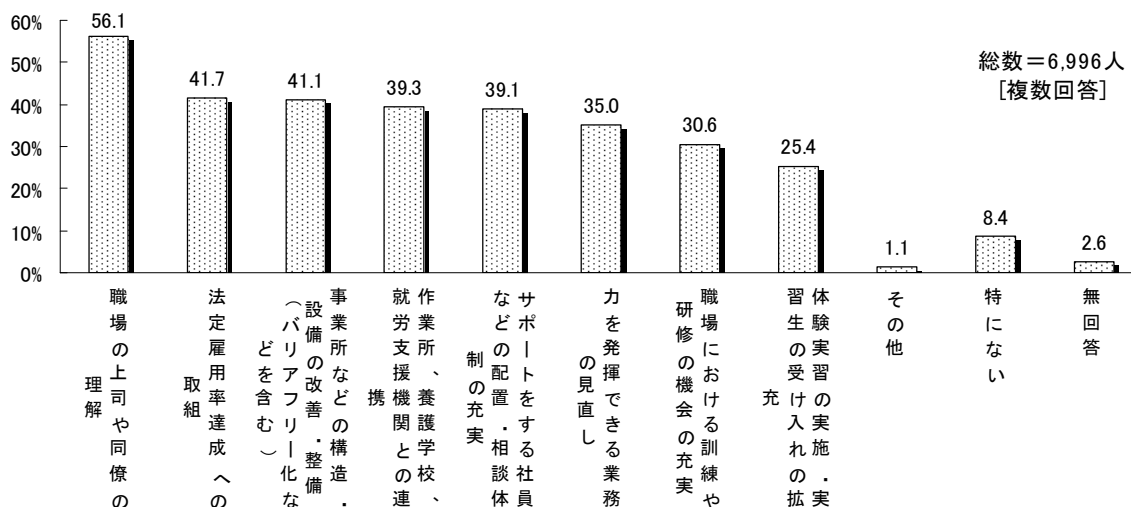
問 障害のある人に関する行政の施策のうち、もっと力を入れてもらいたいと思うものは何ですか。

図Ⅱ-10-1 重要だと思う障害者への施策



問 障害のある人の就労に向けた企業などの役割として、重要だと思われるものを次の中からすべて選んでください。

図Ⅱ-10-3 障害者の一般就労へ向けた企業の役割



9 福祉サービスへの民間参入

福祉サービスへの民間参入の賛否、民間参入の賛成理由

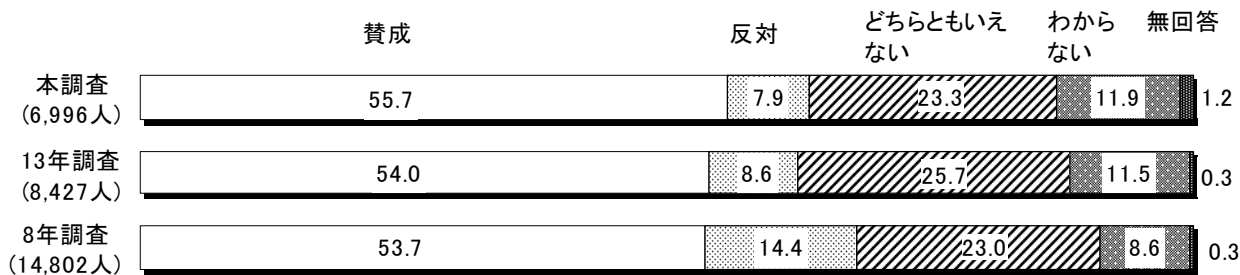
福祉サービスの民間参入に「賛成」の割合は前回調査より増加、賛成理由は「行政だけでは必要なサービスを賄いきれないから」が最も多い。

福祉サービス分野へ民間企業が参入することの賛否を尋ねたところ、「賛成」が55.7%、「反対」が7.9%と前回、前々回の調査と比べて、「賛成」の割合が増加した。(図Ⅱ-12-1 本文201p)

福祉サービス分野へ民間参入が参入することに賛成と答えた3,897人の理由は「行政だけでは必要なサービスを賄いきれないから」が最も多く38.4%で、前回調査よりも増加した。(図Ⅱ-12-4 本文205p)

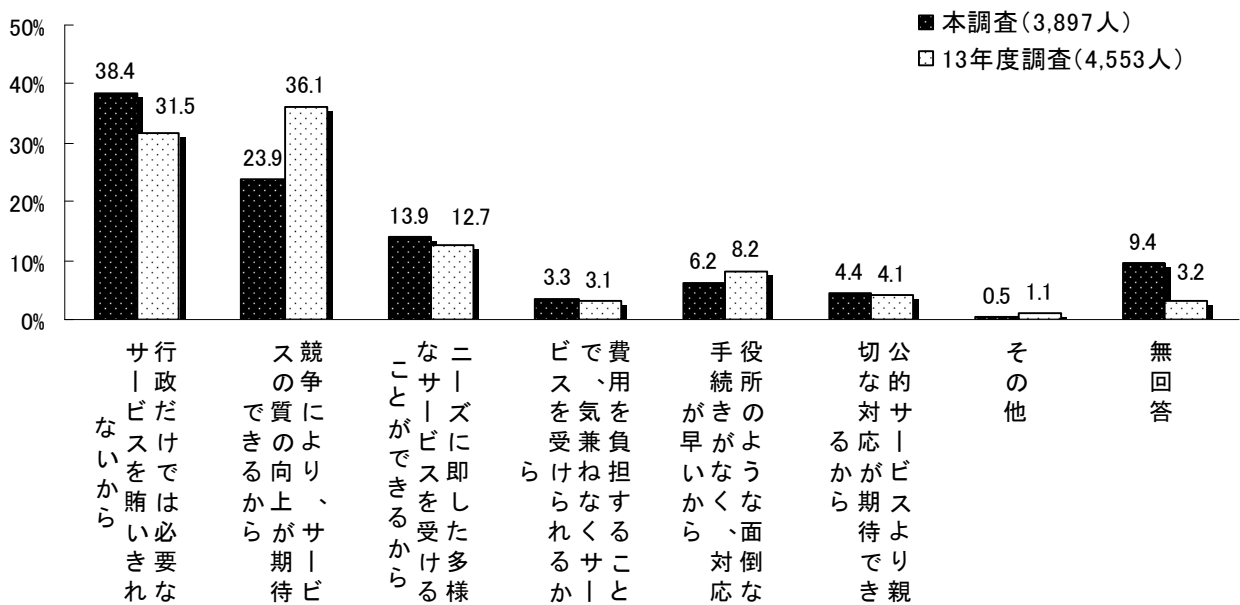
問 多様な福祉サービス分野に民間企業が進出していますが、このことについて、あなたは、賛成ですか。それとも反対ですか。

図Ⅱ-12-1 福祉サービスへの民間参入の賛否



問 賛成の理由は何ですか。

図Ⅱ-12-4 民間参入の賛成理由



10 社会保障と費用負担

(1) 社会保障サービスの水準と費用負担のあり方－世帯類型別（子どもの有無、高齢者・母子世帯別）

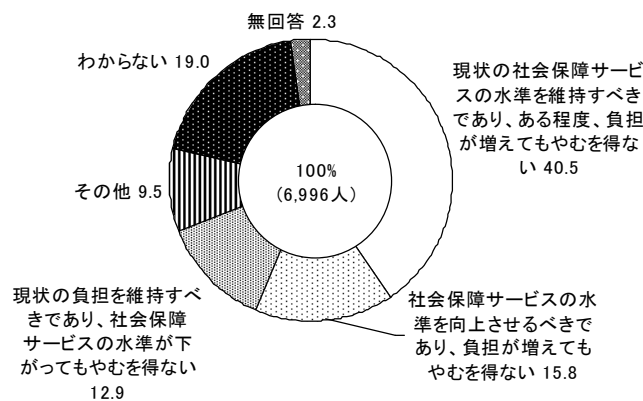
社会保障サービスの水準と負担の関係は「現状の社会保障サービスの水準を維持すべきであり、ある程度、負担が増えてもやむを得ない」が最も多く 4 割を占めた。

社会保障サービスの水準と負担の関係はどうあるべきか尋ねたところ、「現状の社会保障サービスの水準を維持すべきであり、ある程度、負担が増えてもやむを得ない」が最も多く 40.5%、一方、「わからない」も 19.0%と多くなっている。（図Ⅱ-13-1 本文 209p）

社会保障サービスの水準と費用負担のあり方を世帯類型別にみると、母子世帯では、「社会保障サービスの水準を向上させるべきであり、負担が増えてもやむを得ない」と答えた割合が 22.4%と最も高く、総数では 40.5%と最も高かった「現状の社会保障サービスの水準を維持すべきであり、社会保障サービスの水準が下がってもやむを得ない」の割合が 18.4%と低くなっている。（表Ⅱ-13-1 本文 211p）

問 少子高齢化が進行し、社会保障を受ける人が増え、負担する人が減ることが予想されています。今後の社会保障サービスの給付と負担の関係はどうあるべきか、あなたの考えに最も近いものを次の中から 1 つ選んでください。

図Ⅱ-13-1 社会保障サービスの水準と費用負担のあり方



表Ⅱ-13-1 社会保障サービスの水準と費用負担のあり方

－世帯類型別（子どもの有無、高齢者・母子世帯別）

		総 数	社会保 障サ ー ビス の 水 準 を 向 上 さ せ る べ き で あ り 、 負 担 が 増 え て も や む を 得 な い	現 状 の 社 会 保 障 サ ー ビス の 水 準 を 維 持 す べ き で あ り 、 負 担 が 増 え て も や む を 得 な い	現 状 の 負 担 を 維 持 す べ き で あ り 、 社 会 保 障 サ ー ビス の 水 準 を 維 持 す べ き で あ り 、 負 担 が 増 え て も や む を 得 な い	そ の 他	わ か ら な い	無 回 答
総数		100.0 (6,996)	15.8	40.5	12.9	9.5	19.0	2.3
子どもの有無	18歳未満の子どもがいる世帯	100.0 (1,720)	14.6	39.7	12.1	12.5	19.8	1.3
	18歳未満の子どもがいない世帯	100.0 (5,253)	16.2	40.8	13.2	8.4	18.8	2.6
	(再掲)	100.0	17.0	37.8	11.1	13.4	19.7	1.0
	6歳未満の子どもがいる世帯	(786)						
高齢者・母子世帯別	高齢者世帯	100.0 (1,172)	12.7	43.0	15.2	5.5	20.2	3.4
	母子世帯	100.0 (49)	22.4	18.4	16.3	16.3	26.5	-
	その他の世帯	100.0 (5,752)	16.3	40.2	12.4	10.2	18.7	2.1

(2) 今後の社会保障サービスにおける負担方法のあり方－社会保障サービスの水準と費用負担のあり方別

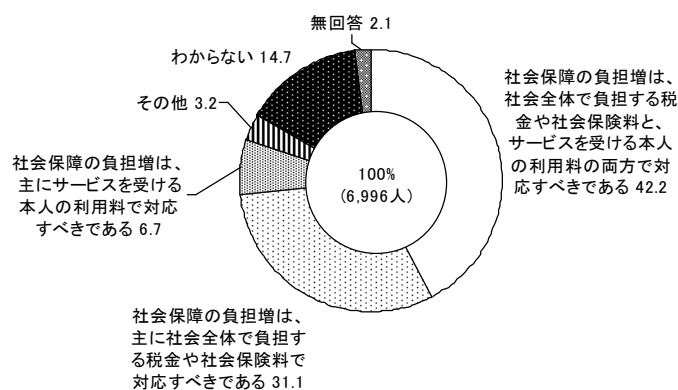
費用負担がある程度増えてもやむを得ないと考えている人では、その負担方法は「社会全体で負担する税金や社会保険料と、サービスを受ける本人の利用料の両方に対応すべき」が6割

今後の社会保障サービスにおける負担方法のあり方を尋ねたところ、「社会保障の負担増は、社会全体で負担する税金や社会保険料と、サービスを受ける本人の利用料の両方に対応すべきである」が最も多く42.2%であった。(図Ⅱ-13-3 本文 212p)

今後の社会保障サービスにおける負担方法のあり方を社会保障サービスの水準と費用負担のあり方別にみると、「社会全体で負担する税金や社会保険料と、サービスを受ける本人の利用料の両方に対応すべき」の割合は、ある程度、負担が増えてもやむを得ないと答えている人が60.2%と最も高い。(図Ⅱ-13-5 本文 214p)

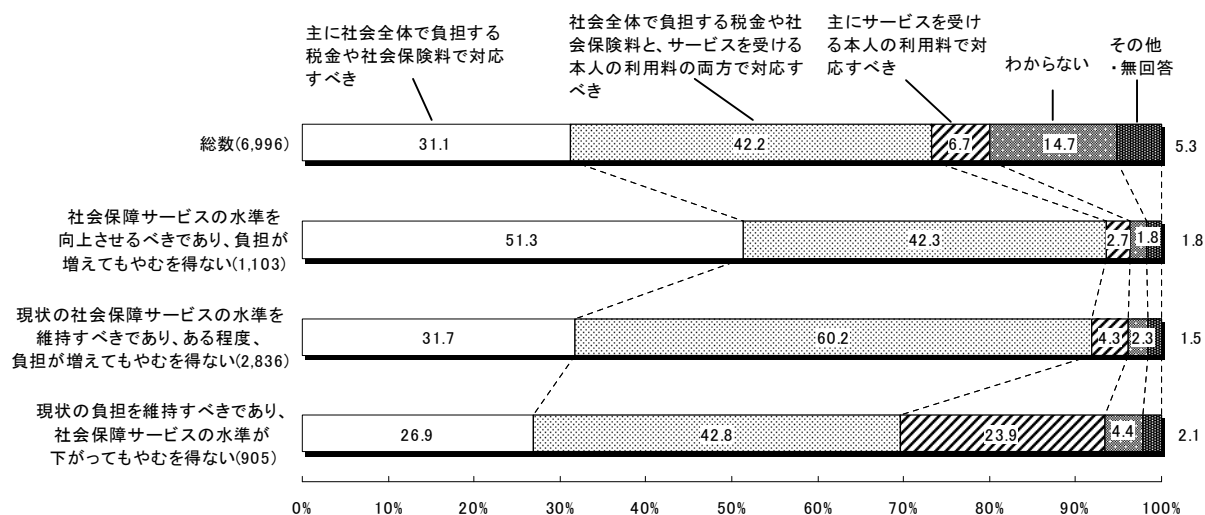
問 社会保障サービスの負担は、社会全体で負担する税金や社会保険料と、サービスを受ける本人の利用料に分けられます。社会保障の負担増が避けられない場合、今後の負担の方法はどうあるべきか、あなたの考えに最も近いものを次の中から1つ選んでください。

図Ⅱ-13-3 今後の社会保障サービスにおける負担方法のあり方



図Ⅱ-13-5 今後の社会保障サービスにおける負担方法のあり方

－社会保障サービスの水準と費用負担のあり方別



11 所得などのあり方

現在の社会状況－性・年齢階級別

現在の社会状況は「本人の努力や能力により向上できる社会」と答えた人が男女ともに、全ての年齢階級にて最も多い。

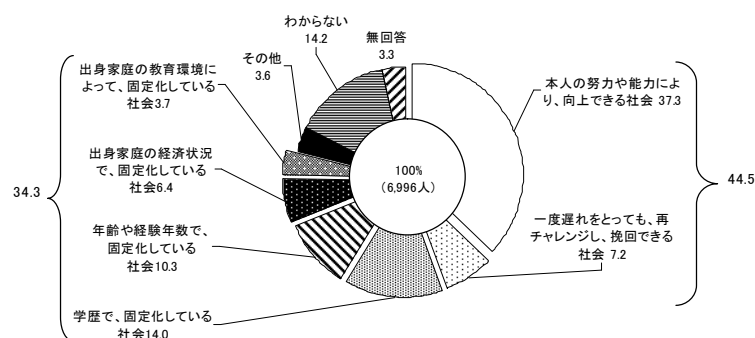
現在の社会の状況をどう考えるか尋ねたところ、「本人の努力や能力により、今後の所得などを向上できる社会」と回答したものが最も多く 37.3%、「一度遅れをとっても、再チャレンジし、挽回できる社会」を合わせると 44.5%であった。一方、学歴・年齢や経験年数・出身家庭の経済状況、教育環境で固定化している社会と回答した合計は 34.3%であった。（図Ⅱ-14-3 本文 222p）

現在の社会状況をどう思うかを性・年齢階級別にみると、男女とも全ての年齢階級において「本人の努力や能力により、今後の所得などを向上できる社会」と答えた割合が最も多かった。（図Ⅱ-14-4 本文 223p）

問 現在の社会状況をあなたはどのように考えますか。

図Ⅱ-14-3

現在の社会状況



図Ⅱ-14-4

現在の社会状況

－性・年齢階級別

